

AZ490

**NET IMPRESSシリーズ用
リモートコントローラ**

インストラクションマニュアル

株式会社DTSインサイト

INSTRUCTION MANUAL

No. M2328AC-10

改訂履歴

版	発行日付	変更内容
第1版	2003. 04. 07	新規発行
第2版	2004. 04. 12	誤記訂正
第3版	2004. 08. 31	VersionUpによる画像の変更
第4版	2006. 10. 18	フォルダ・ファイルリストフォームの追加 エラーメッセージの追加 画面の変更
第5版	2008. 05. 16	使用環境の追加
第6版	2011. 02. 22	使用環境の追加
第7版	2013. 04. 09	仕様変更
第8版	2014. 05. 19	仕様変更
第9版	2016. 07. 22	使用環境の追加・タイムアウト時間の変更
第10版	2016. 11. 11	使用環境の追加
第11版	2022. 04. 26	エラーコード記載内容の修正

<ご注意>

- (1) 本書の内容を一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点やお気づきの点がありましたら、ご連絡下さい。
- (4) 本製品を運用した結果の内容の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承下さい。

Copyright 2016 DTS INSIGHT CORPORATION. All rights reserved.

Printed in Japan

目 次

1	概要・特徴	4
2	画面説明	6
2-1	Remote Controller 周辺画面	6
2-2	Host Interface Configuration 画面	9
2-3	Parameter Table2 画面	11
2-4	Basic Operation 画面	12
2-5	CF Card Information 画面	15
2-6	Parameter Table1 画面	17
2-7	File Transfer 画面	19
2-8	フォルダ・ファイルリスト画面	22
3	ご使用前の準備	24
3-1	リモートコントローラご利用時の製品構成	24
3-2	起動・通信設定	26
3-2-1	起動方法	26
3-2-2	通信設定	29
4	パラメータ変更ツールとしてのご利用について	32
4-1	Parameter Table 1 の設定	34
4-2	Basic Operation 画面の設定	38
4-3	Parameter Table 2 の設定	40
4-4	パラメータファイルの作成とロード	41
4-5	Edit Mode でのパラメータファイルの編集	42
5	リモートコントローラとしての取扱い説明	44
5-1	Basic Operation	44
5-1-1	ファイル操作	45
5-1-2	Device Function の実行	45
5-1-3	バッファ RAM 内容の変更	45
5-1-4	変更データのサーチ (モディファイビットサーチ)	45
5-1-5	ブロックストア、バッファクリア	45
5-1-6	BufferRAM のサム値表示	45
5-2	File Transfer	46
5-2-1	オブジェクトファイルのロード/セーブ	47
5-2-2	パラメータファイルのロード/セーブ	47
5-2-3	カレント YIM ファイルのコピーと削除	47
5-2-4	定義体ファイルのロード/セーブ	48

5-2-5	YIM フォルダの作成/削除/切替え/コピー	48
5-2-6	ルートファイルのコピー/削除.....	49
5-3	CF Card Information	51
5-3-1	CF カードシリアル番号表示.....	51
5-3-2	ライセンス表示	52
5-3-3	ライセンス追加	52
5-3-4	CF カードのフォーマット	52
5-4	Host Interface Configuration	53
5-4-1	タイムアウト時間の設定.....	53
5-4-2	ライタ時間の設定.....	53
5-4-3	ログ設定	54
5-4-4	プローブセレクト.....	55
5-4-5	DIO フィルタ時間設定.....	55
5-5	10KEY.....	56
5-6	Folder / File List	57
5-6-1	ノード操作.....	57
5-6-2	フォルダ・ファイル検索.....	59
5-6-3	フォルダ・ファイル全表示ボタン	60
6	APPENDIX 1.....	61
7	APPENDIX 2.....	65

1 概要・特徴

AZ490 リモートコントローラは、NET IMPRESS シリーズフラッシュマイコンプログラマ（以下、NET IMPRESS）を Windows 版パーソナルコンピュータ（PC/AT）から、リモート制御を行うことや、コントロールモジュールのパラメータテーブルを変更することができます。（Remote Mode）
また、コントロールモジュールにダウンロードして使用することができるパラメータファイル（*.prm）を、NET IMPRESS との接続を必要とせずに編集/保存することができます。（Edit Mode）
編集/保存されたパラメータファイルは、Remote Mode にて NET IMPRESS と接続した後に Load Parameter にてダウンロードを行って使用することができます。

AZ490 ご利用時の使用環境

IBM PC/AT 互換機

OS WindowsXP (Professional Edition)、WindowsVista *1、
Windows7 32bit 版 (Professional/Enterprise)、*2、
Windows7 64bit 版 (Professional) *2、
Windows10 64bit 版 (Professional) 日本語版 *2

言語 日本語版、英語版

CPU Pentium 1GHz 以上を奨励

メモリ 512MByte 以上を奨励

モニタ 800x600 以上を奨励

*1 : WindowsVista ご使用時には、ドライブの直下にファイルを保存できません。

以下の機能をご使用になる場合には、ご注意ください。

オブジェクトファイルセーブ

ファイルコピー(セーブ)

パラメータセーブ

定義体セーブ

*2 : Windows7、Windows10 をご使用時には、下記内容をご確認ください。

・使用環境

OS が C ドライブにインストールされている PC をご使用ください。

・AZ490 のインストールについて

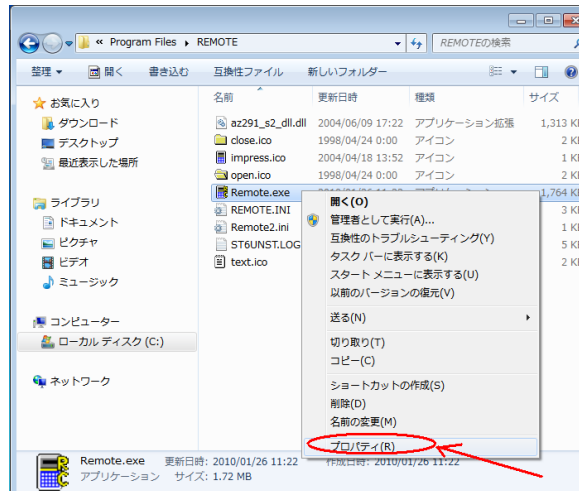
管理者でログインした状態で行ってください。

・ソフトウェアの実行について

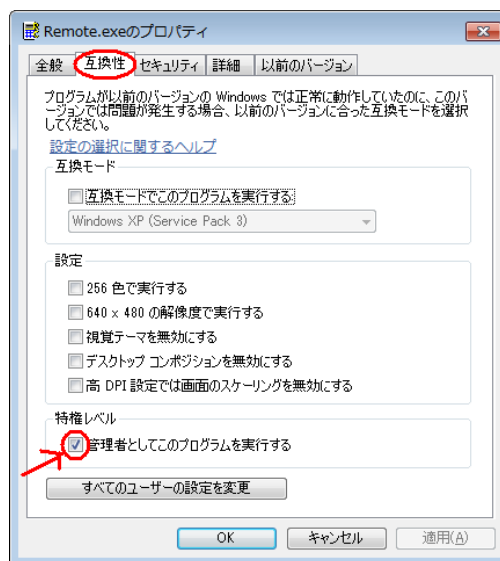
プログラムを実行する前に、特権レベルを「管理者として実行」に設定してください。

設定方法)

1. 実行ファイル (Remote.exe) を右クリックして「プロパティ」を選択



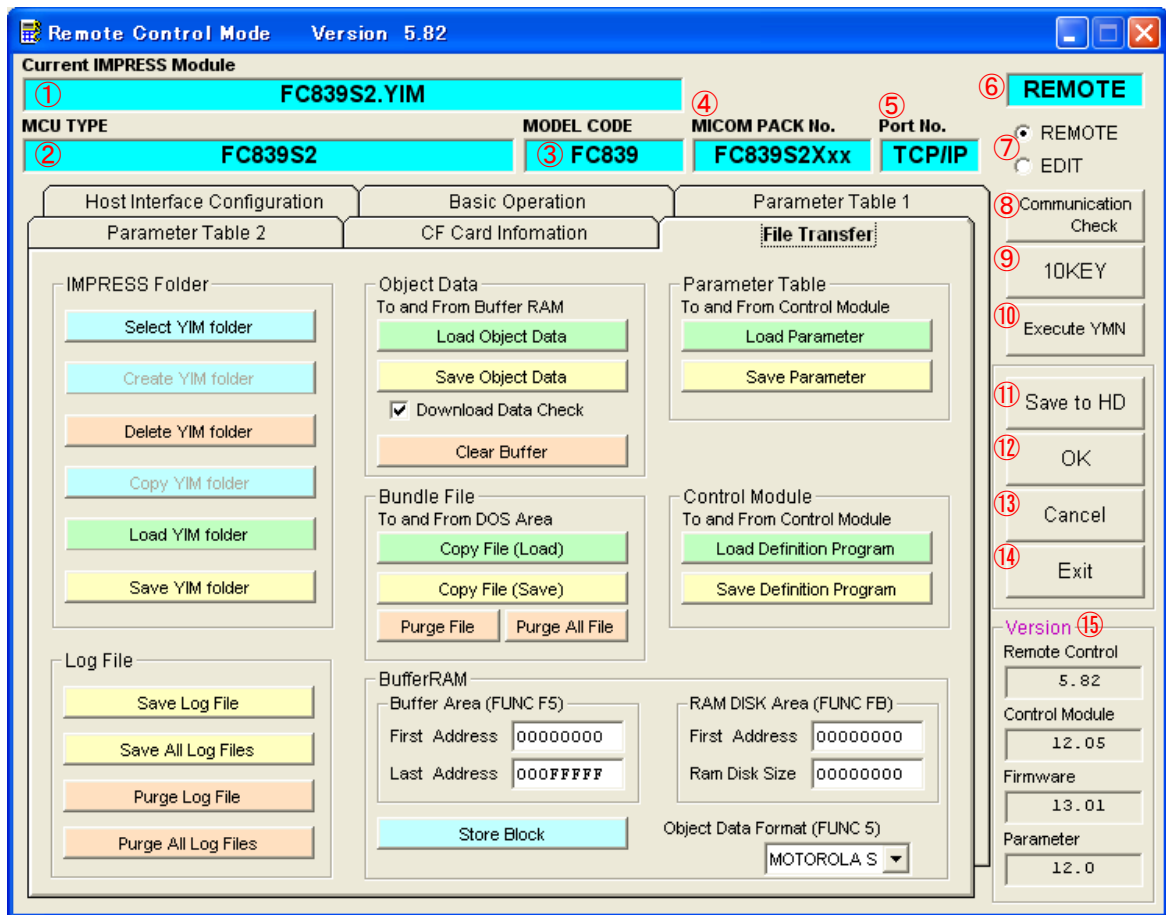
2. 互換性タブ上 特権レベル 管理者としてこのプログラムを実行するにチェックをいれ、OK ボタンを押す。



2 画面説明

ここでは、Remote Controller の各画面の概略を説明します。

2-1 Remote Controller 周辺画面



①カレント IMPRESS Module フォルダ表示ボックス

(Compact Module 使用時のみ)

現在選択されている IMPRESS Module フォルダを表示します。

②MCU 型名表示ボックス

書き込みを行うマイコンの型名を表示します。

③Model Code 表示ボックス

現在使用しているコントロールモジュールの型名を表示します。

④マイコンパック名表示ボックス

現在使用しているマイコンパック名を表示します。

⑤ポート番号表示ボックス

Ethernet 使用時には” TCP/IP” と表示されます。

⑥Remote Controller モード表示

Remote Mode で使用時は” REMOTE” と、Edit Mode で使用時は” EDIT” と表示されます。

⑦モード選択ボタン

Remote Mode と Edit Mode を切り替える際に使用します。

⑧Communication Check ボタン

NET IMPRESS と接続する際に使用します。

⑨10KEY ボタン

10KEY 画面が表示されます。

⑩YMN 実行ボタン

YMN 機能を実行する際に使用します。

⑪パラメータファイルセーブボタン

パラメータをファイルとして HD にセーブする際に使用します。

⑬OK ボタン

Remote Controller 上で変更したパラメータを、NET IMPRESS に設定します。

⑭キャンセルボタン

Remote Controller 上で変更したパラメータを、NET IMPRESS に設定せずに元に戻します。

⑮Exit ボタン

Remote Controller を終了します。

⑩バージョン表示

各種バージョンを表示します。

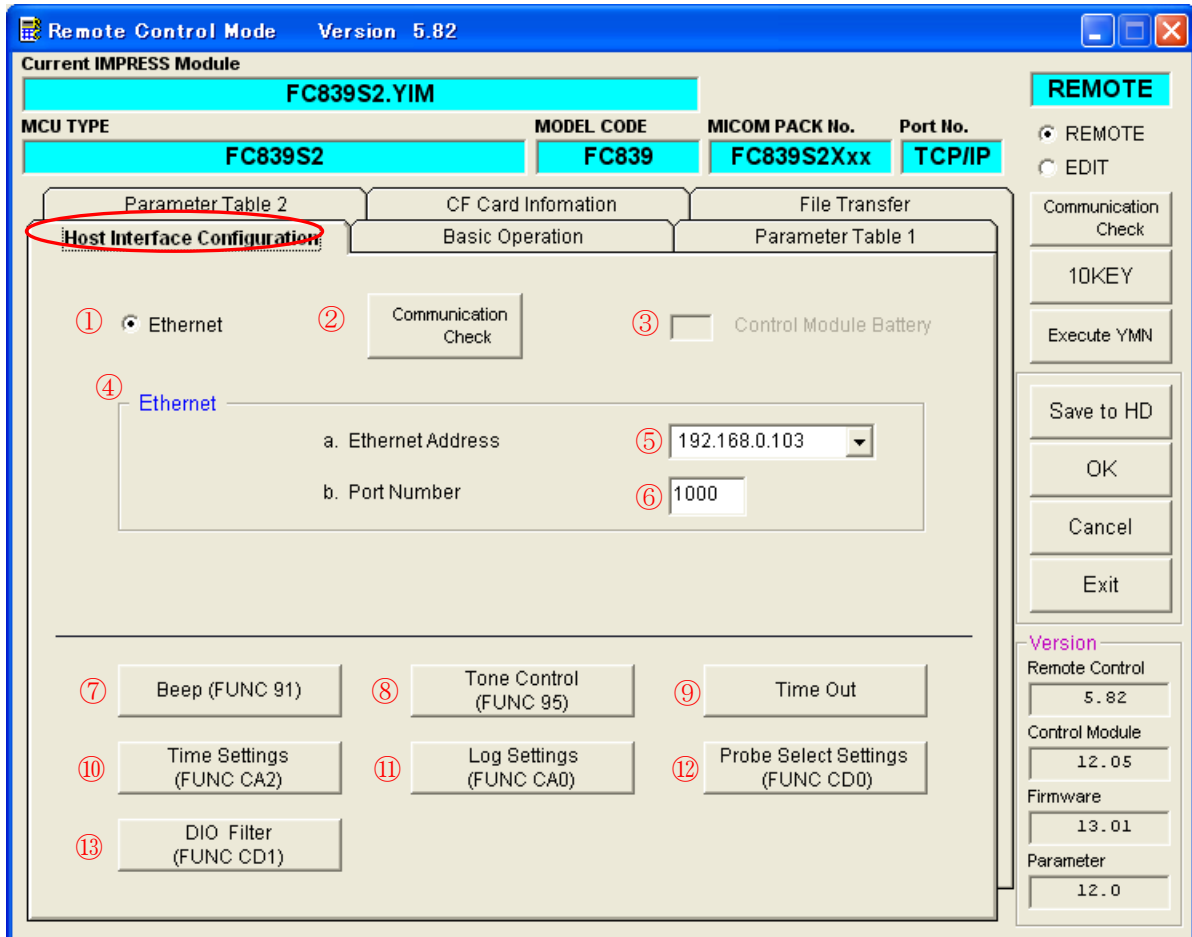
Remote Control : Remote Controller のバージョン

Control Module : 使用しているコントロールモジュールのバージョン

Firmware : NET IMPRESS のファームウェアバージョン

Parameter : パラメータファイルのバージョン

2-2 Host Interface Configuration 画面



①通信路選択ボタン

通信路を選択します。(現状ではEthernetのみ選択可能です。)

②Communication Check ボタン

NET IMPRESS と接続を行います。

③コントロールモジュールバッテリー残量表示

(IMPRESS Module 使用時のみ)

コントロールモジュールの残量が豊富な場合は緑色に、残りが少ない場合は赤色になります。

④Ethernet 通信条件設定欄

Ethernet の通信条件を設定します。

⑤Ethernet IP アドレス設定ボックス

通信を行う NET IMPRESS の IP アドレスを設定します。

⑥Ethernet ポート番号設定ボックス

通信を行う NET IMPRESS のポート番号を設定します。

⑦Beep 音変更ボタン

Beep 音の鳴り方を変更します。

⑧Beep トーン変更ボタン

Beep 音のトーンを変更します。

⑨タイムアウト設定ボタン

Device Function、Function のタイムアウト値を変更する際に使用します。
タイムアウト設定画面が表示されます。

⑩ライタ時間設定ボタン

ライタ時間を変更します。

⑪ログ取得条件設定ボタン

ログの取得条件を設定します。

⑫プローブセレクト方法設定ボタン

プローブセレクト方法を設定します。

⑬DIO フィルタ設定ボタン

DIO フィルタを設定します。

2 - 3 Parameter Table2 画面

Remote Control Mode Version 5.85

Current IMPRESS Module: **FC839S2.YIM**

MCU TYPE: **FC839S2** MODEL CODE: **FC839** MICOM PACK No.: **FC839S2Xxx** Port No.: **TCP/IP**

Host Interface Configuration Basic Operation Parameter Table 1

Parameter Table 2 CF Card Information File Transfer

Specific Parameter for this Control Module (FUNC 8X)

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F	
0C0:	00	00	34	41	00	00	07	EE	00	00	07	ED	00	00	00	08	..4A.....
0D0:	00	00	01	01	00	05	1E	00	00	00	00	00	00	00	00	00
0E0:	FF	FF	18	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	03	00
0F0:	00	00	00	00	80	00	68	00	00	00	00	00	0A	00	00	00h.....
140:	00	0F	FF	00	00	0F	FF	00	00	00	00	00	00	00	C8	00
600:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
610:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
620:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
630:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00

- WARNING -
 These parameter should not be changed.
 Contact to DTS INSIGHT in details.

REMOTE
 REMOTE
 EDIT

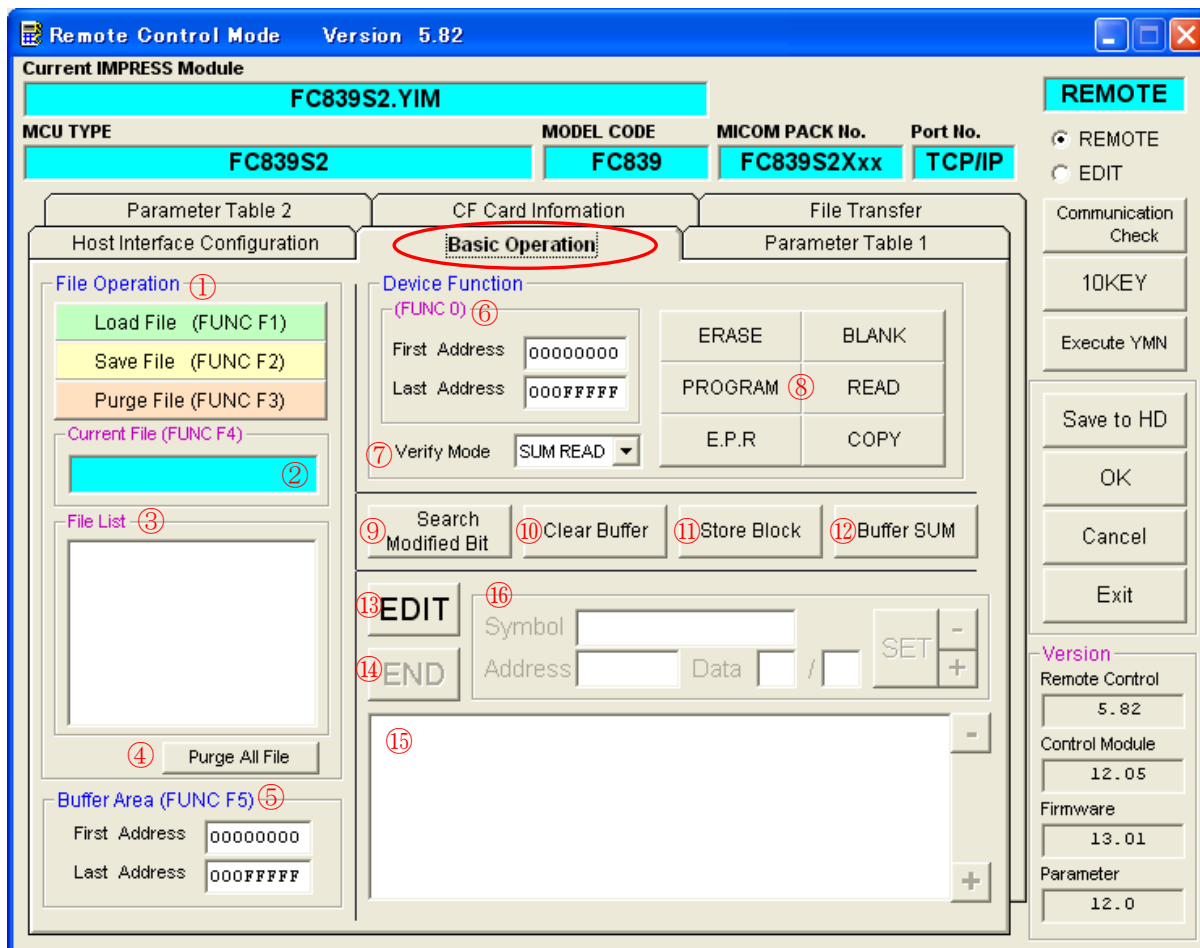
Communication Check
 10KEY
 Execute YMN

Save to HD
 OK
 Cancel
 Exit

Version
 Remote Control: 5.85
 Control Module: 12.09
 Firmware: 13.05
 Parameter: 12.0

本項に関する詳細は、弊社 第一事業本部 第二事業部 自動車プロダクト部 サポートセンタまでお問い合わせ下さい。

2-4 Basic Operation 画面



①ファイル操作ボタン

カレント YIM ファイルのバッファ RAM へのロード、バッファ RAM 内容のカレント YIM ファイルへのセーブ、カレント YIM ファイルの削除が行えます。

②カレントファイル名表示ボックス

バッファ RAM に展開されているファイルが表示されます。

複数のファイルをバッファ RAM に展開した場合には、1 番最後に展開されたファイル名が表示されます。

バッファクリア実行時、Device Function の Copy 実行時、カレントファイル名はクリアされます。

③カレント YIM ファイル表示リストボックス

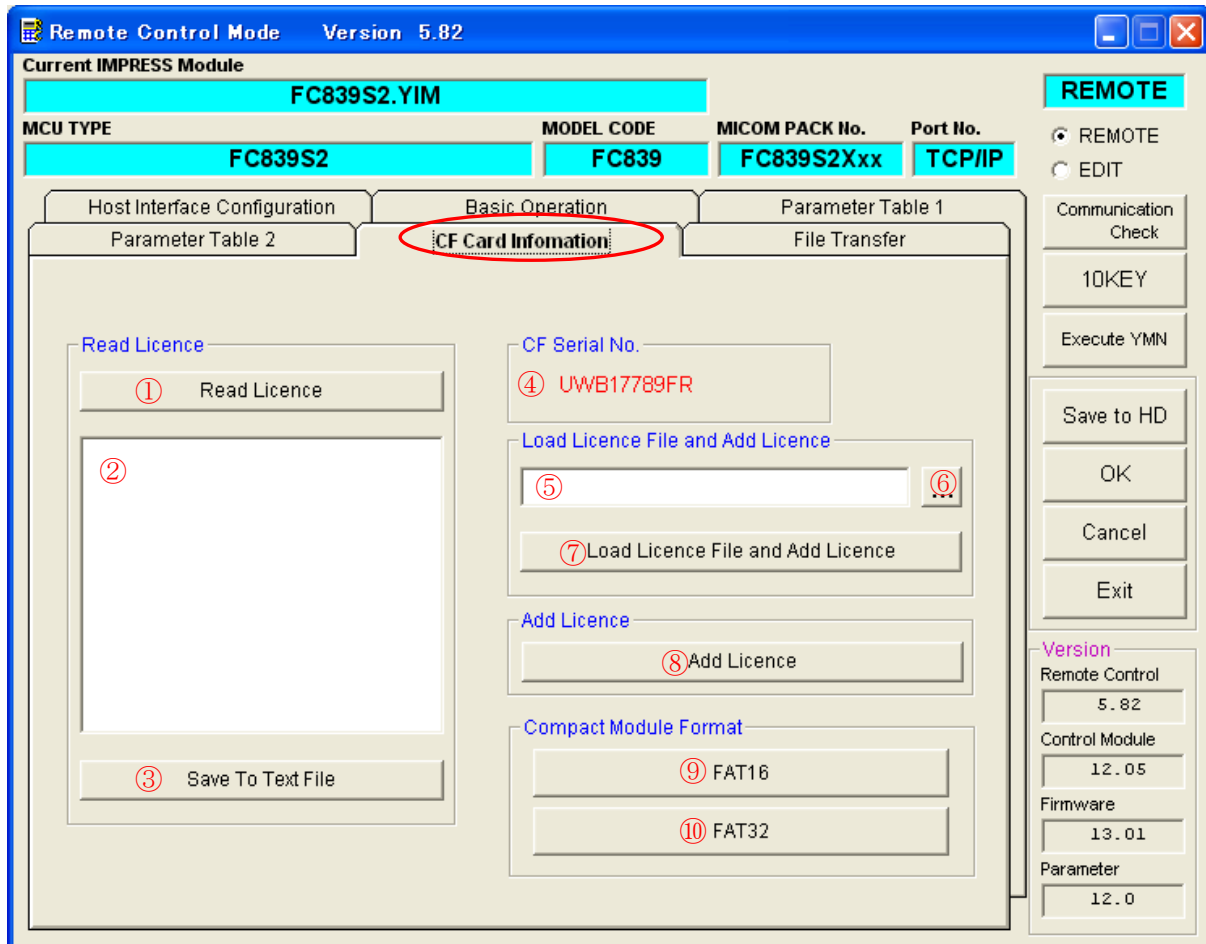
カレント YIM フォルダに存在するファイルが表示されます。

- ④カレント YIM ファイル全消去ボタン
カレント YIM フォルダに存在するファイルを全消去します。
- ⑤転送アドレス設定ボックス
転送アドレスを設定します。
- ⑥Device Function 実行アドレス設定ボックス
Device Function を実行するアドレスを設定します。
- ⑦ベリファイモード選択ボックス
ベリファイモードを FULL READ / SUM READ の中から選択します。
- ⑧Device Function 実行ボタン
各種 Device Function を実行します。
- ⑨モディファイビットサーチ実行ボタン
モディファイビットサーチを実行します。
- ⑩バッファクリアボタン
バッファクリアを実行します。
- ⑪ブロックストア実行ボタン
ブロックストアを実行します。
- ⑫SUM 値計算ボタン
Device Function 実行領域、ファイル転送領域の SUM 値を計算し、表示します。
- ⑬バッファ RAM 表示ボタン
バッファ RAM の内容がバッファ RAM ウィンドウに表示されます。
- ⑭バッファ RAM 表示終了ボタン
バッファ RAM 表示ウィンドウに表示されている内容をクリアします。
- ⑮バッファ RAM ウィンドウ
バッファ RAM 表示ボタン押下時に、バッファ RAM の内容が表示されます。

⑩バッファ RAM 内容変更ボタン

バッファ RAM の内容を変更する際に使用します。

2-5 CF Card Information 画面



①ライセンス読み出しボタン

CFカードに登録されているライセンスを読み出し、ライセンス表示リストに表示します。

②ライセンス表示リスト

ライセンス読み出しボタンを押下された際に、CFカードに登録されているライセンスを表示します。

③ライセンス情報保存ボタン

ライセンス表示リストに表示されているライセンス情報を、ファイルに保存します。

④シリアル番号表示ボックス

CFカードのシリアル番号を表示します。(NETIMPRESS nextのみ)

⑤ライセンスファイル入力ボックス

ライセンス登録を行うライセンスファイルのパスを入力します。

⑥ライセンスファイル選択ボタン

ライセンスファイル選択ボックスが表示されます。

⑦PC上ファイルからのライセンス追加ボタン

ライセンスファイル入力ボックスに入力されたライセンスファイルの登録を行います。

PC上のライセンスファイルからライセンスを追加する形態になります。

PC上のライセンスファイルをCFカード上にロードした後ライセンスの登録が行われ、登録後ライセンスファイルは削除されます。

⑧ライセンス追加ボタン

CFカードに格納されているライセンスファイルを使用してライセンスを登録します。

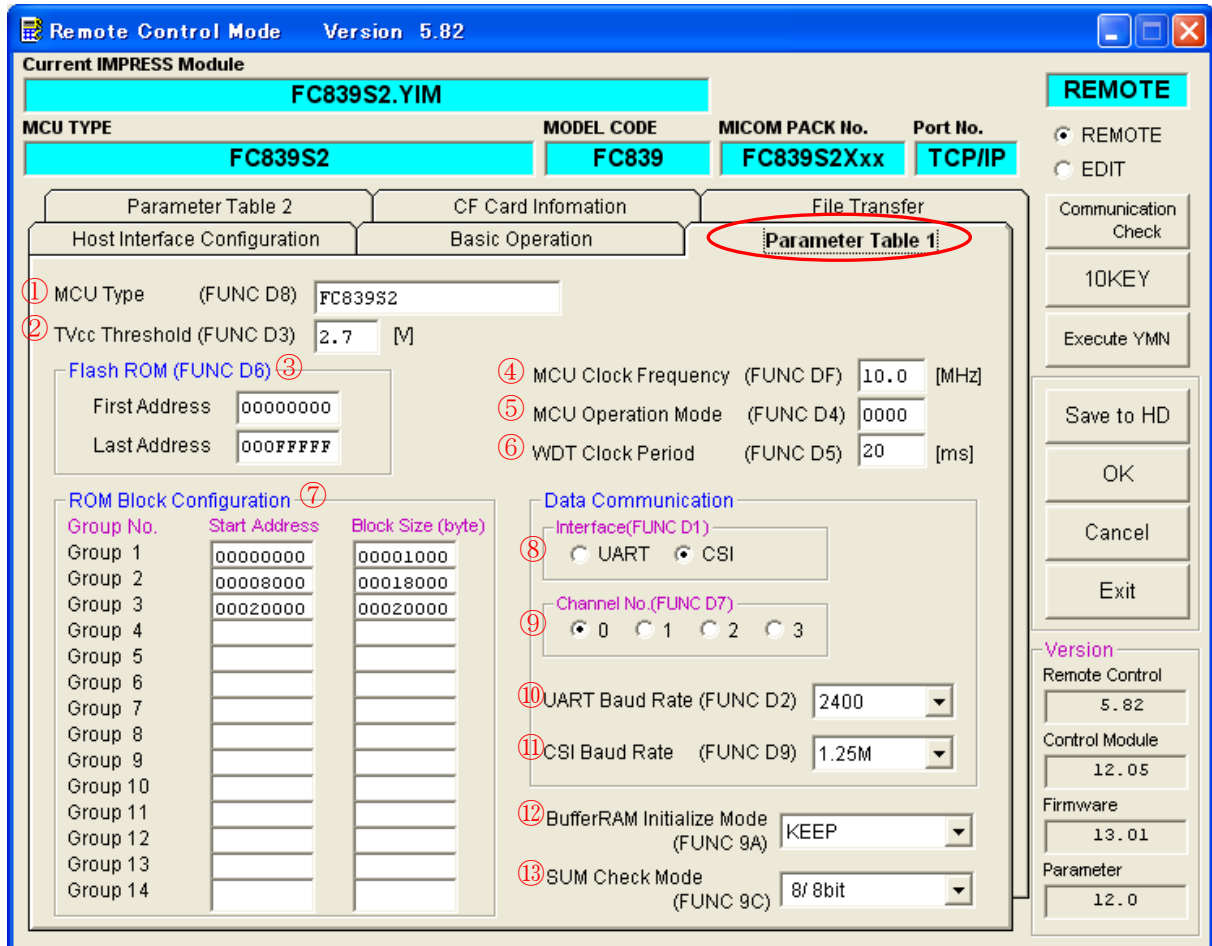
⑨CFカードフォーマットボタン(FAT16)

CFカードをFAT16形式でフォーマットします。

⑩CFカードフォーマットボタン(FAT32)

CFカードをFAT32形式でフォーマットします。

2-6 Parameter Table1 画面



①マイコン型名設定ボックス

書き込みを行うマイコン名を設定します。

設定されたマイコン名はMET IMPRESSのLCDに表示されます。

②TVcc スレッシュヨルド設定ボックス

TVccのスレッシュヨルド値を設定します。

③フラッシュ ROM 領域設定ボックス

フラッシュ ROM のアドレスを設定します。

④MCU 動作周波数設定ボックス

MCUの動作周波数を設定します。

⑤MCU モード設定ボックス

MCU のモードを設定します。

⑥ウォッチドックタイマ周期設定ボックス

ウォッチドックタイマの周期を設定します。

⑦フラッシュ ROM ブロック構成設定ボックス

フラッシュ ROM のブロック構成を設定します。

⑧通信路設定ボタン

NET IMPRESS とターゲット間の通信インターフェイスを選択します。

⑨通信チャンネル設定ボタン

通信チャンネルを設定します。

⑩UART 通信ボーレート設定ボックス

UART の通信ボーレートを選択します。

⑪CSI 通信ボーレート設定ボックス

CSI の通信ボーレートを選択します。

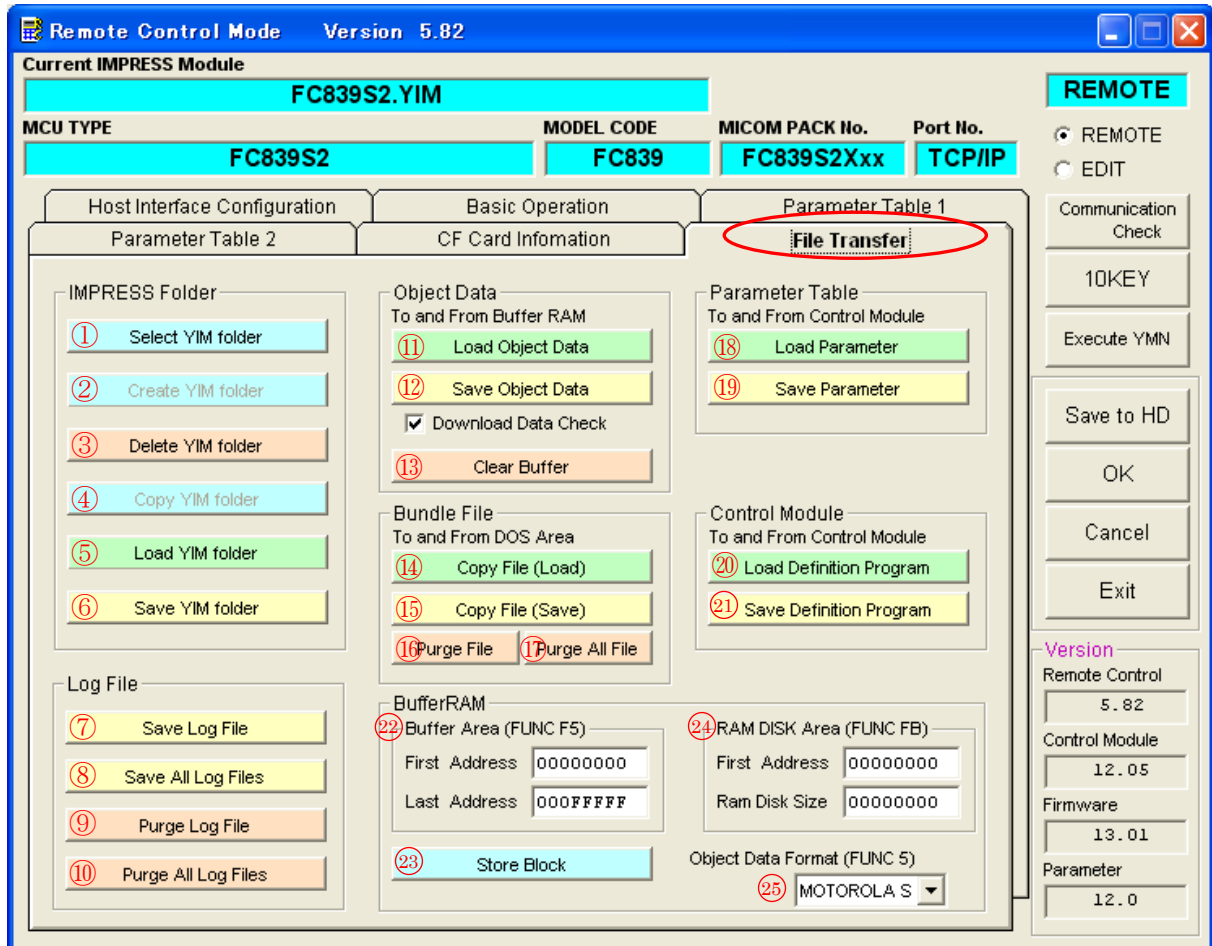
⑫バッファ RAM イニシャルモード選択ボックス

NET IMPRESS 起動時にバッファ RAM を初期化するかどうかを選択します。

⑬SUM 値計算モード選択ボックス

SUM 値計算モードを選択します。

2-7 File Transfer 画面



- ① YIM フォルダ選択ボタン
使用する YIM フォルダを選択します。
- ② YIM フォルダ作成ボタン
YIM フォルダを作成します。
- ③ YIM フォルダ削除ボタン
YIM フォルダを削除します。
- ④ YIM フォルダコピーボタン
カレント YIM フォルダのコピーを行います。

⑤YIM フォルダロードボタン

PC 上の YIM フォルダを CF カードにロードします。

⑥YIM フォルダセーブボタン

YIM フォルダを PC 上に保存します。

⑦ログファイルセーブボタン

CF カード内のログファイルを PC 上に保存します。

⑧全ログファイルセーブボタン

CF カード内に存在する全ログファイルを PC 上に保存します。

⑨ログファイル削除ボタン

CF カード内に保存されているログファイルを削除します。

⑩全ログファイル削除ボタン

CF カード内に保存されている全ログファイルを削除します。

⑪オブジェクトファイルロードボタン

PC 上のオブジェクトファイルをバッファ RAM に展開します。

⑫オブジェクトファイルセーブボタン

バッファ RAM の内容を PC にセーブします。

⑬バッファクリアボタン

バッファ RAM の内容を 0xFF にクリアします。

⑭ファイルコピー(ロード)ボタン

PC 上のファイルをカレント YIM フォルダ、又は CF のルート領域にロードします。

⑮ファイルコピー(セーブボタン)

カレント YIM ファイル、コントロールファイルを PC 上にセーブします。

⑯ファイルパージボタン

カレント YIM ファイル、コントロールファイルの削除を行います。

⑰ファイルオールページボタン

カレント YIM ファイル、又はコントロールファイルの全消去を行います。

⑱パラメータロードボタン

PC 上のパラメータを NET IMPRESS にロードします。

⑲パラメータセーブボタン

NET IMPRESS のパラメータを PC 上にセーブします。

⑳定義体ダウンロードボタン

PC 上の定義体を NET IMPRESS にダウンロードします。

㉑定義体セーブボタン

NET IMPRESS 上の定義体を PC 上にセーブします。

㉒ファイル転送アドレス設定ボックス

オブジェクトファイルのロード・セーブを行う際のバッファメモリ範囲設定を行います。

㉓ブロックストアボタン

ブロックストアを実行します。

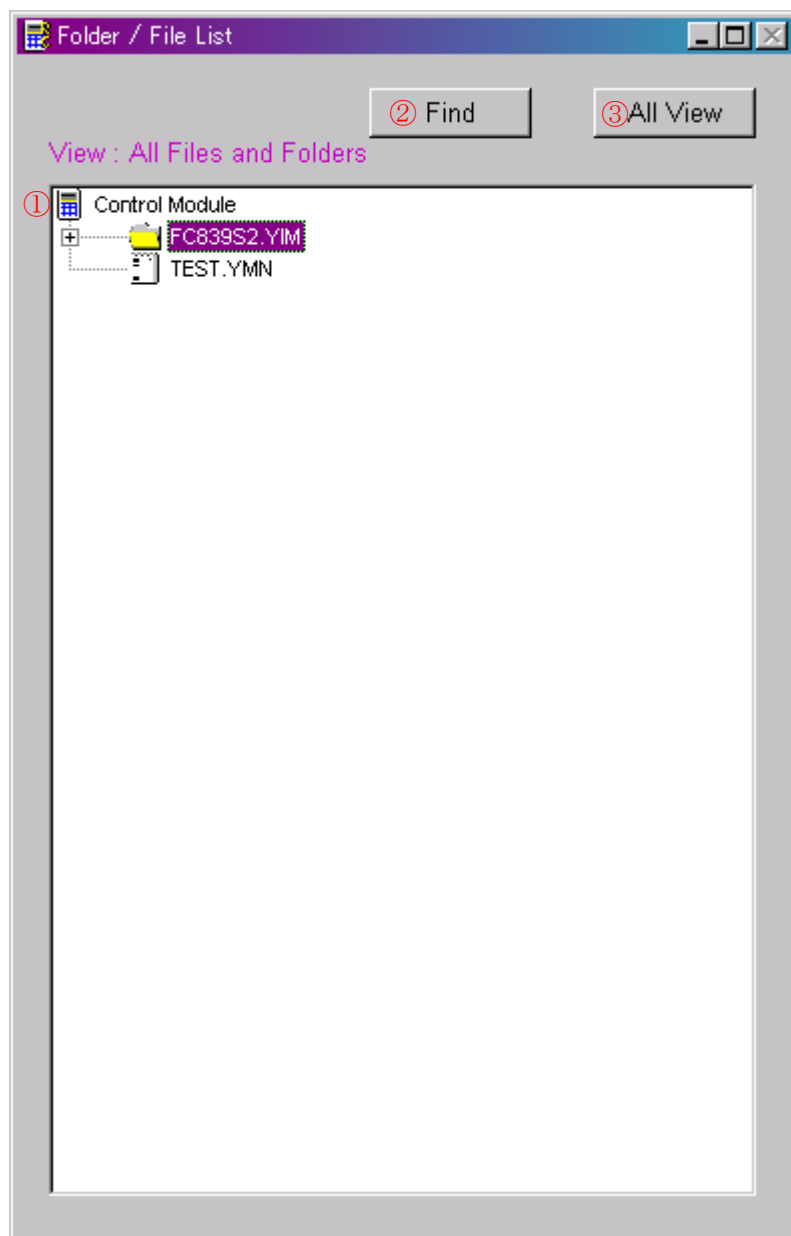
㉔RAM DISK 領域設定ボックス

RAM DISK 領域を設定します。

㉕データフォーマット選択ボックス

バッファ RAM を PC 上にセーブする際のファイルフォーマットを選択します。

2-8 フォルダ・ファイルリスト画面



①フォルダ・ファイルリスト

CF カード内に存在する YIM フォルダ・ファイルを階層構造で表示します。
カレント YIM フォルダ以外の YIM フォルダ内のファイルは参照できません。

②検索ボタン

フォルダ・ファイルリスト内のフォルダ・ファイルを検索する際に使用します。

③フォルダ・ファイル全表示ボタン

CF カード内の全 YIM フォルダとファイルを表示する際に使用します。

(ただし、カレント YIM フォルダ以外の YIM フォルダ内のファイルは表示されません。)

3 ご使用前の準備

—本章は必ずお読み下さい—

3-1 リモートコントローラご利用時の製品構成

次の構成で機器を接続して下さい。

機器の接続は、必ず全ての機器の電源が切れている状態で行って下さい。

電源の投入、遮断は、必ず次の順序で行って下さい。(電源の投入については3-2章をご参照下さい。)

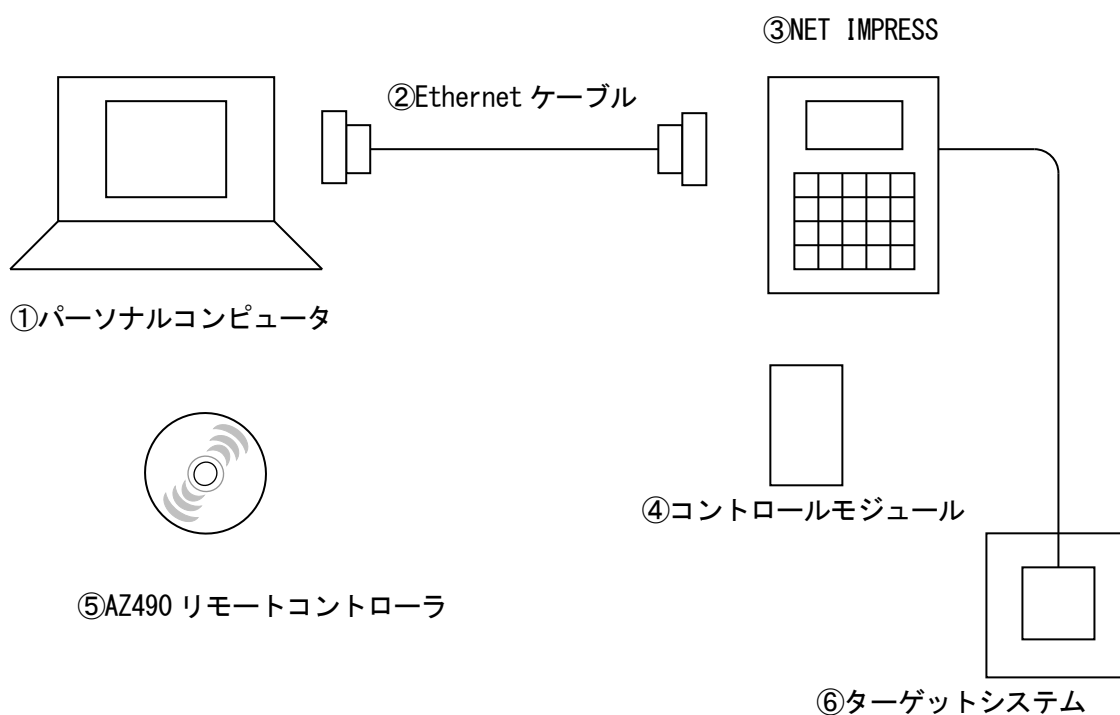
<投入順序>

パーソナルコンピュータ → NET IMPRESS → ターゲットシステム

<遮断順序>

ターゲットシステム → NET IMPRESS → パーソナルコンピュータ

また、AZ490のリモートコントローラプログラムをパーソナルコンピュータにインストールして下さい。インストール手順は、APPENDIX 1をご参照下さい。



① パーソナルコンピュータ

IBM PC/AT 互換 Windows NT 4.0 以上

モニタ 800x600 以上

② Ethernet ケーブル

PC と NET IMPRESS を接続する Ethernet ケーブル

③ NET IMPRESS

Edit Mode でご使用になれる場合には、必ずしも必要ではありません。

④ コントロールモジュール

ターゲットシステム上のフラッシュマイコンに対応した（同一のアルゴリズム、同一のプロトコルをもった書き込み方式）コントロールモジュール (Fxxxx) を NET IMPRESS に必ず実装してご利用下さい。PC 上のオブジェクトファイル、又はコントロールモジュールのカレント YIM フォルダ内に配置されたオブジェクトファイルをバッファ RAM にダウンロードを行い、バッファ RAM の内容をターゲットマイコンに書き込む事ができます。

Edit Mode でご使用になれる場合には、必ずしも必要ではありません。

⑤ AZ490 リモートコントローラ

NET IMPRESS 上の操作（ローカル操作）と同等の操作が行えます。

また、書き込み対象となるマイコンの変更にもなって必要となる、各種パラメータ情報の設定と確認が行えます。

⑥ ターゲットシステム

リモートコントローラを使用して、実際のデバイスに書き込み、読み出しをする場合に必要です。

Edit Mode でご使用になれる場合には、必ずしも必要ではありません。

3-2 起動・通信設定

—本章は必ずお読み下さい—

3-2-1 起動方法

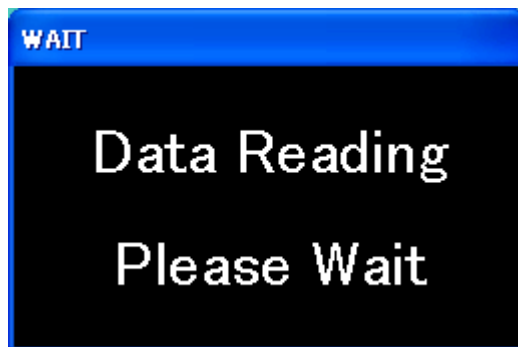
次の順序で行います。

< Remote Mode >

①インストールの終わった PC、NET IMPRESS、ターゲットシステムの順に電源を投入します。

②PC 上で本器（リモートコントローラ）を起動します。

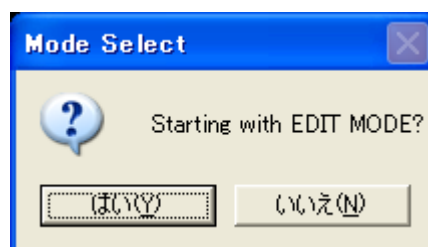
下図のような待ち受け画面が表示され NET IMPRESS と接続を行います。



③前回の終了時に、Edit Mode で終了した場合には下図の確認画面が表示され起動時にモードを選択することが出来ます。

（前回、Remote Mode で終了した場合には表示がされません）

Remote Mode で使用する場合には、” いいえ ” を選択してください。



④正常に起動されると、Basic Operation 画面が PC 上に表示されます。

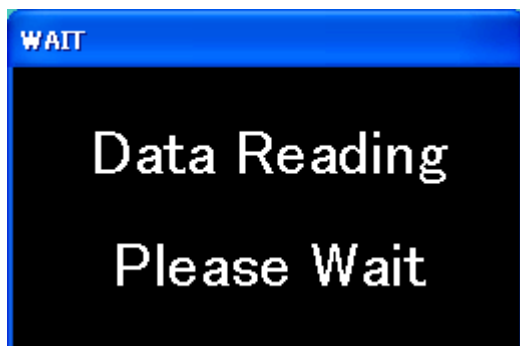
⑤NET IMPRESS とパーソナルコンピュータの通信エラー（通信条件が不一致など）の場合には、下図のような画面が表示されます。



OK ボタンを押すと Host Interface Configuration 画面が表示されます。
「3-2-2 通信設定」に従い通信初期設定を行って下さい。

< Edit Mode >

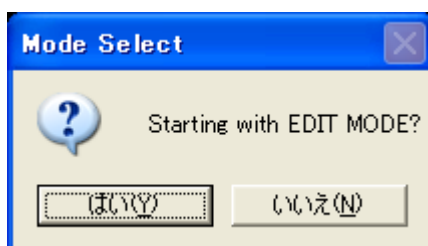
- ①PC 上で本器（リモートコントローラ）を起動します。
下図のような待ち受け画面が表示されます。



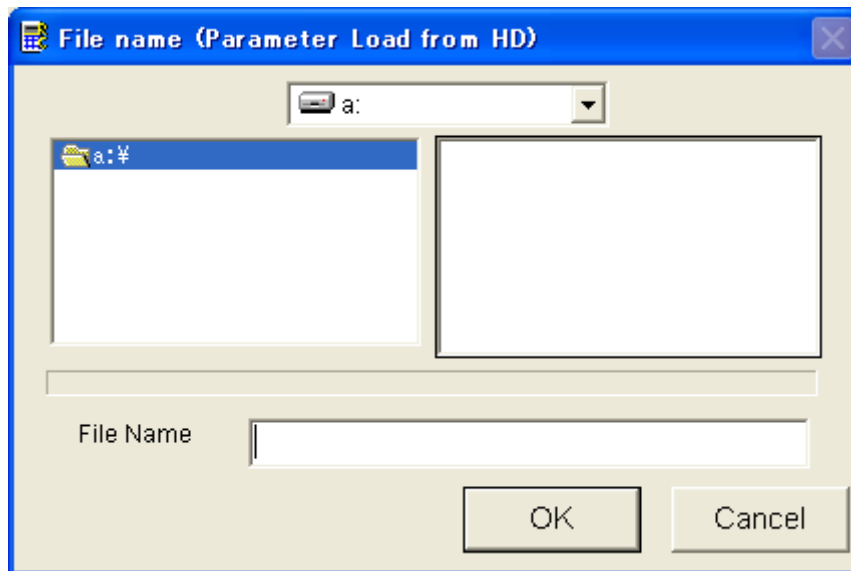
- ②前回、Edit Mode で終了した場合には下図の確認画面が表示され起動時にモードを選択することが出来ます。

前回 Remote Mode の状態で終了した場合には、Remote Mode での起動となりますので、起動後にモードを変更してください。

Edit Mode で使用する場合は、” はい ” を選択してください。



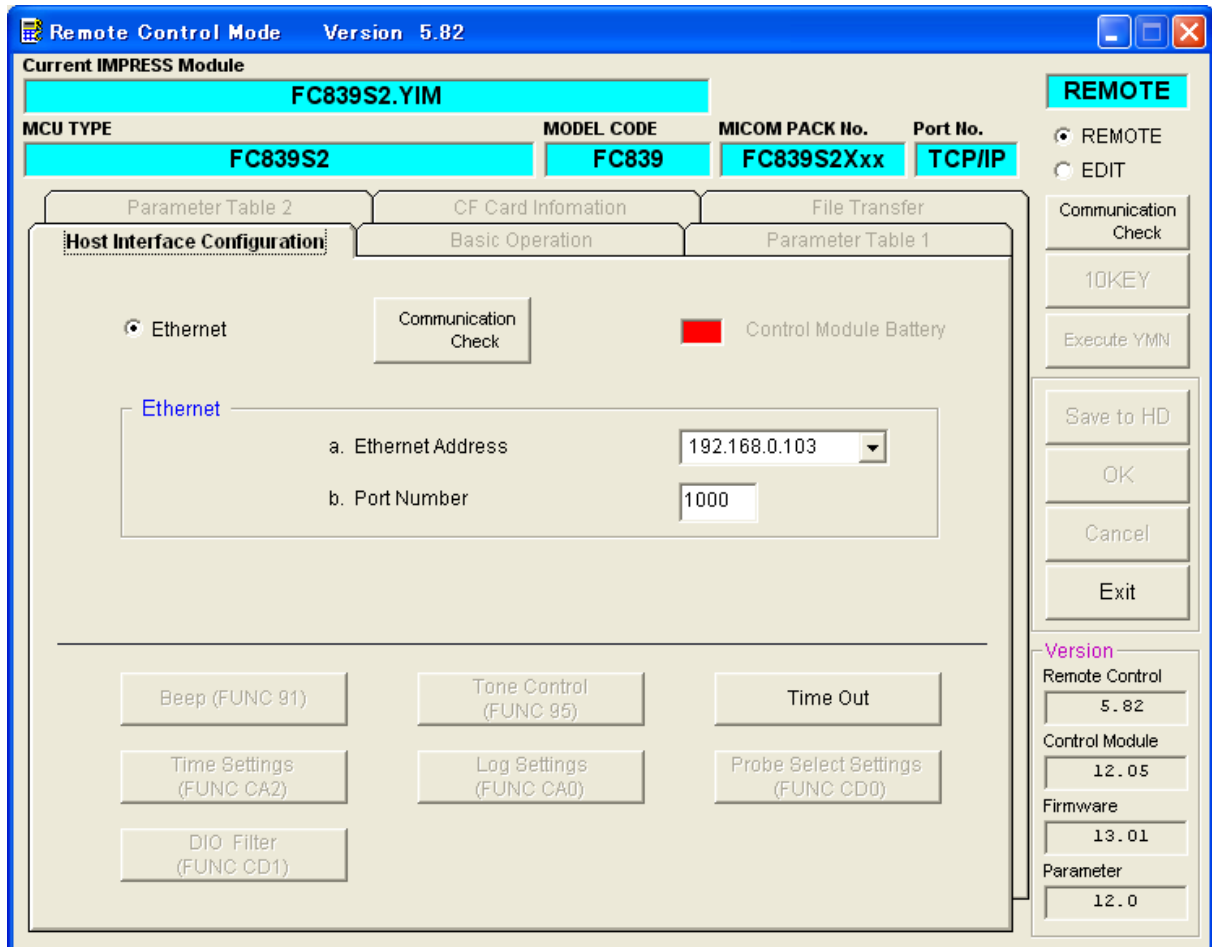
- ③ロードするパラメータファイルの選択を行います。
選択できたら、OK ボタンを押してください。
CANCEL ボタンを押されすと、Remote Mode にて起動を行います。



- ④正常に起動されると、Basic Operation 画面が PC 上に表示されます。

3-2-2 通信設定

Host Interface Configuration の画面で通信の設定を行います。



①NET IMPRESS との通信に関する設定

Ethernet の通信条件を設定します。

- a. Ethernet Address (IP アドレスまたはホスト名)
 - b. Port Number
- を入力してください。

通信条件を設定後、



ボタンをクリックして下さい。

ライタとの通信が開始されます。

②通信が正常に行えると、「Connected to AF200」とメッセージが出ます。



OK ボタンを押して下さい。

③Basic Operation 画面が PC 上に表示されます。

以上で、リモートコントローラと NET IMPRESS の通信は確立しました。

注意 1

NET IMPRESS との接続をはじめて行う際は、必ずこのホストインタフェイス
コンフィギュレーション画面で通信条件を設定する必要があります。
この設定は、NET IMPRESS 側の FUNCTION E2 による設定内容と完全に
一致させて下さい。

*** 通信が確立されない場合**

以下の点に御注意下さい。

- ・ 設定した IP アドレスとポート番号が NET IMPRESS 側の設定と一致しているか？
Function E2 を実行すると、NET IMPRESS 側の IP アドレスとポート番号が確認できます。
IP アドレスは NET IMPRESS の起動時に、LCD に表示されます。
- ・ ケーブルの接続に問題がないか？
PC と NET IMPRESS を 1 対 1 接続する場合、Ethernet のケーブルは、
PC によってはクロスケーブルである必要があります。
- ・ PC に IP アドレスが設定されているか？
PC 上の IP アドレスが設定されていない場合には、IP を設定する必要があります。
IP アドレスが自動取得になっている場合は、手動設定に変更し、IP アドレスを設定
してください。

- ・ IP アドレスの設定規則に基づいて、正しい値が設定されているか？
IP アドレスは設定できる範囲が決められています。
使用できない IP を設定していないか確認して下さい。

 - ・ PC 側の IP アドレスと NET IMPRESS 側の IP アドレスのネットワークアドレスが一致しているか？
PC 側の IP アドレスと NET IMPRESS 側の IP アドレスのネットワークアドレスが一致していないと、ルーター等のネットワーク機器を間に挟む必要があります。

 - ・ 同じネットワーク上に、同じ IP アドレスを持った機器が存在しないか？
同じ IP アドレスを持った機器が複数存在すると、接続が正しく行われません。
- NET IMPRESS と PC がネットワークで繋がっているかどうかは、コマンドプロンプトの Ping コマンドを実行する事で確認できます。

4 パラメータ変更ツールとしてのご利用について

ーリモートコントローラとしてご利用いただく場合も

必ずお読みくださいー

コントロールモジュールは、代表マイコンと同一のプロトコル及びアルゴリズムをもつ複数のマイコンへの応用を容易にするため、その一部をユーザディファインブルなパラメータとして開放しています。

AZ490 リモートコントローラは、3-1章に示す構成で、Remote Mode では、NET IMPRESS の中に実装されたコントロールモジュールのパラメータ変更ツールとして、Edit Mode では、パーソナルコンピュータ上のパラメータファイル (*.prm) の変更ツールとしてご利用いただけます。

Remote Mode でのパラメータの変更は次の順番で3つのウィンドウを順次に開いて設定していきます。各ウィンドウの設定が終了したら、その都度 OK ボタンを押してその内容を NET IMPRESS に実装されたコントロールモジュールへ転送/設定を行います。

Edit Mode でのパラメータの変更手順も各ウィンドウを順次に開いていき設定しますが、設定終了時には、” Save to HD” ボタンにより、変更を行ったパラメータファイルをパーソナルコンピュータに保存してください。

保存したパラメータファイルは NET IMPRESS に実装されたコントロールモジュールにダウンロードして使用してください。

(注意)

パラメータテーブルを変更する場合には、ターゲットシステム (マイコン) との接続は不要ですが、パラメータテーブルを変更すること以外の目的で本器をご利用の場合には、ターゲットシステムと接続して下さい。

①Parameter Table 1

NET IMPRESS とターゲットマイコン間の転送と制御に関する設定です。

書き込み対象マイコンの変更時に必ず設定が必要です。

②Basic Operation

デバイスファンクション実行領域 (FUNCTION 0) 及び転送アドレス領域 (FUNCTION F5) の設定を行います。

③Parameter Table 2

機種固有の設定画面です。

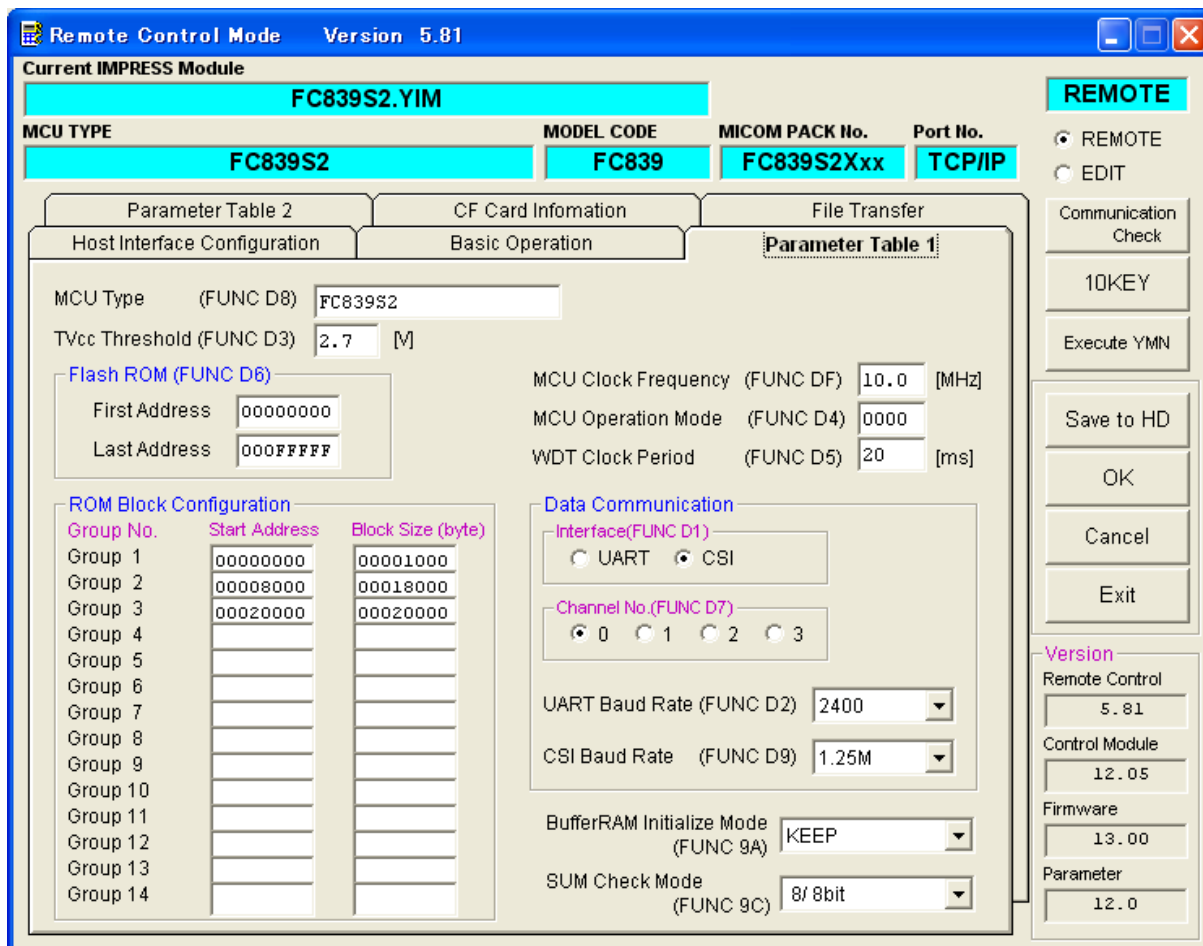
当該コントロールモジュールの機種固有設定に関する取扱い説明をご覧ください設定して下さい。

コントロールモジュールによっては、機種固有設定を必要としない機種もあります。

不要な場合には、設定を変更しないで下さい。

4-1 Parameter Table 1 の設定

各種設定項目内容は、NET IMPRESS next インストラクションマニュアル、MegaNet / G[™] arNET IMPRESS インストラクションマニュアルもご参照下さい。



①MCU Type の設定 (FUNCTION D8)

NET IMPRESS の LCD 上の型名表示エリアを、本項の設定により変更できます。

対象マイコンの変更及び電源電圧などシステム特性の変更キーワードとしてお客様ご自身で最適な表示内容を設定して下さい。

20 桁までの入力が可能です。

ただし、ライターでの LCD 表示は 7 桁となります。

②TVcc Threshold 電圧の設定 (FUNCTION D3)

ターゲットマイコンの動作電圧の下限値よりさらに 10%程低い値を設定して下さい。

ライターは、ターゲットシステムの動作電圧 (TVcc) を監視しており、TVcc がここに設定された電圧値以上になるまで、プログラミング等のデバイスファクションの実行を開始しません。

③内蔵フラッシュメモリエリアの設定 (FUNCTION D6)

マイコンに内蔵されているフラッシュメモリ領域 (First/Last Address) を入力します。

入力は、16進数で行います。

必ず、内蔵フラッシュメモリ領域の全域がカバーされるように設定して下さい。

④ROM Block Configuration の設定

内蔵フラッシュメモリのブロック構成を設定します。

必ず、ターゲットマイコンのブロック構成と一致させて下さい。

スタートアドレス 4Byte+ブロックサイズ 4Byte で1つのブロック群になります。

ブロック群は最大 14 個まで設定可能です。

ブロック群があまった場合には、アドレス・サイズ共に 00000000 としてください。

例)

ブロック群番号	スタートアドレス	ブロックサイズ
1	00000000h	00001000h
2	00004000h	00002000h
3	00010000h	00004000h
:	:	:

ブロックサイズが 2000h であるブロックが 6 つある事を意味します。
(次のブロック群の開始アドレスが 10000h なので、2000h のブロックが 6 つ入ります。)

ブロックサイズが 1000h であるブロックが 4 つある事を意味します。
(次のブロック群の開始アドレスが 4000h なので、1000h のブロックが 4 つ入ります。)

⑤MCU Clock Frequency の設定 (FUNCTION DF)

書き込み対象マイコンとなるマイコンの種類により、マイコンの動作周波数設定を必要とする場合があります。

マイコンの動作周波数を入力して下さい。

⑥MCU Operation Mode の設定 (FUNCTION D4)

複数のプログラミングモードをもつコントロールモジュールに対して設定が必要です。

設定が必要なコントロールモジュールについては、コントロールモジュールの取扱い説明書に記載がありますので、ご参照ください。

⑦WDT Clock Periodの設定 (FUNCTION D5)

ライタは、オンボードプログラミング中に定周期のロックパルスを出力する機能を持っています。この定周期出力機能を利用する場合は WDT 周期の設定を行います。詳細は、NET IMPRESS next インストラクションマニュアル、MegaNET / C” arNet IMPRESS インストラクションマニュアルをご参照下さい。

⑧NET IMPRESS ターゲットマイコン通信インタフェース条件の設定

a. UART を利用する場合

ターゲットマイコンとの通信インタフェースとして UART を使用する場合、次の設定を行います。

- ・ FUNCTION D1 の設定 : UART を指定します。
- ・ FUNCTION D7 の設定 : 通信ポート番号を設定します。
- ・ UART Baud Rate の設定 (FUNCTION D2)
: UART 通信ボーレートを設定します。
デバイスファクションの開始時は規定のボーレートで立ち上がり、途中でボーレートが切り替わる場合には、切り替わり後のボーレートを設定して下さい。

b. CSI (同期通信モード) を利用する場合

同期通信モードをご利用の場合は、次の設定を行います。

- ・ FUNCTION D1 の設定 : CSI を指定します。
- ・ FUNCTION D7 の設定 : 通信ポート番号を設定します。
- ・ CSI Baud Rate の設定 (FUNCTION D9)
: 同期通信ボーレートを設定します。

⑨BufferRAM Initialize Mode の設定 (FUNCTION 9A)

ライタ起動時にバッファ RAM の内容を初期化するかどうかを設定します。

- ・ KEEP : ライタ起動時にバッファ RAM の内容を初期化しません。
(前回終了時のバッファ RAM の内容が保持されています。)
- ・ CLEAR : ライタ起動時にバッファ RAM の内容を初期化します。

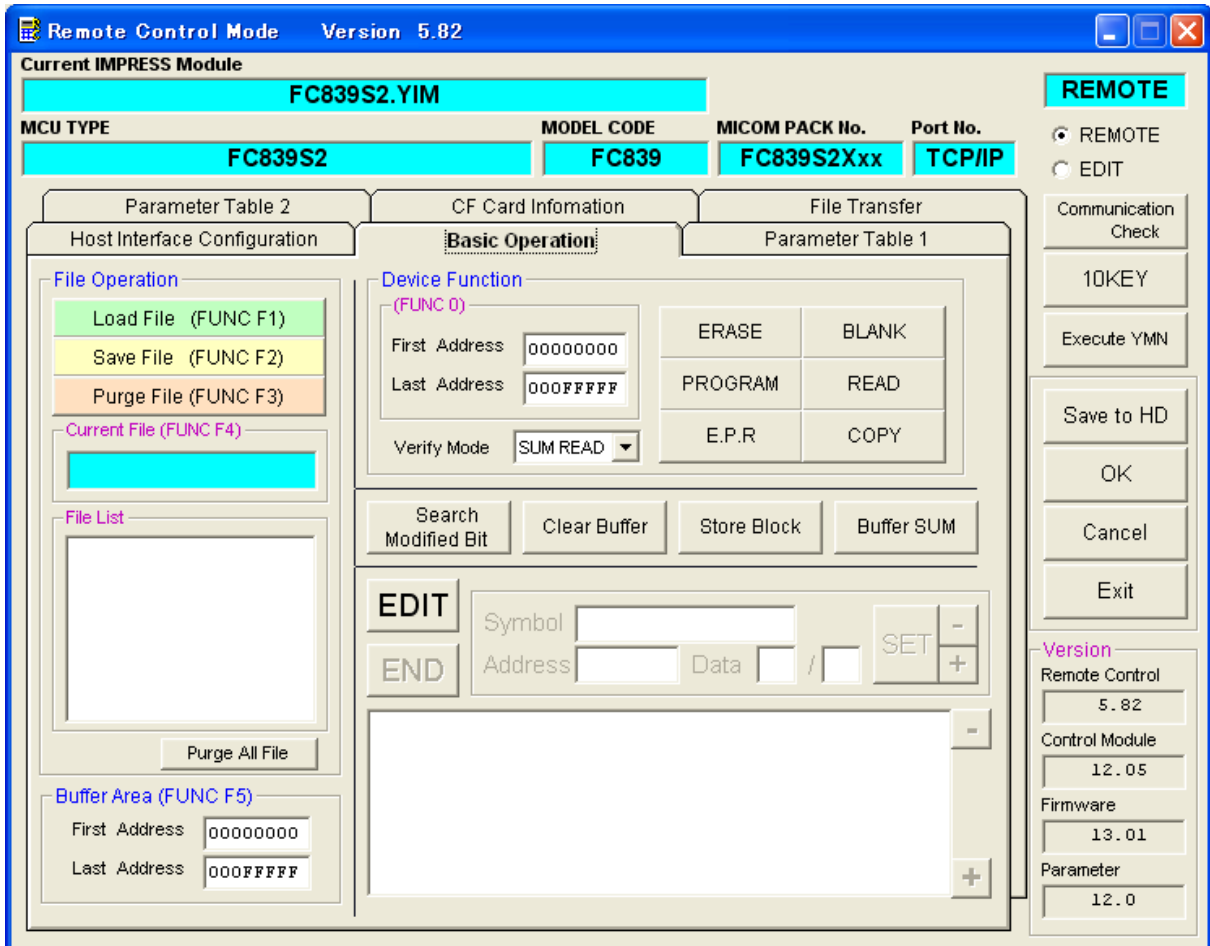
⑩Check Sum Mode の設定 (FUNCTION 9C)

ライターで計算される Check Sum の計算方法を設定します。

- ・ 8/8bit : Sum 値を 8Bit 加算で計算し 8Bit で表示します。
- ・ 16/16bit : Sum 値を 16Bit 加算で計算し 16Bit で表示します。
- ・ 8/16Bit : Sum 値を 8Bit 加算で計算し 16Bit で表示します。

Sum 値計算時、オーバーフローを無視します。

4-2 Basic Operation 画面の設定



①実行アドレスの設定 (FUNCTION 0)

デバイスファンクション機能の対象領域を設定します。

NET IMPRESS next インストラクションマニュアル、MegaNet / C” arNet IMPRESS インストラクションマニュアルを参照して設定して下さい。

通常は4-1. ③項内蔵フラッシュメモリエリアの設定と同じ設定にします。

First Address : 内蔵フラッシュメモリ領域の開始アドレスにあわせます。

Last Address : 内蔵フラッシュメモリ領域の最終アドレスにあわせます。

②転送アドレス領域の設定 (FUNCTION F5)

ホストコンピュータ又はコントロールモジュール内のファイルとバッファ RAM 間で行われるオブジェクトファイル転送に関してその転送領域を設定します。

特に、オブジェクトファイルにアドレス情報をもたないバイナリファイル形式のときに意味をもちます。

詳細は、NET IMPRESS next インストラクションマニュアル、MegaNet / C” arNet IMPRESS インストラクションマニュアルをご参照下さい。

通常は4-1. ③項内蔵フラッシュメモリエリアの設定と同じ設定にします。

First Address : 内蔵フラッシュメモリ領域の開始アドレスに合わせます。

Last Address : 内蔵フラッシュメモリ領域の最終アドレスに合わせます。

③Verify Mode 選択の設定 (FUNCTION 99)

SUM READ : PROGRAM/E. P. R 時の Read Verify を SUM READ にて実行します。

FULL READ : PROGRAM/E. P. R 時の Read Verify を FULL READ にて実行します。

4 - 3 Parameter Table 2 の設定

Remote Control Mode Version 5.85

Current IMPRESS Module: **FC839S2.YIM**

MCU TYPE: **FC839S2** MODEL CODE: **FC839** MICOM PACK No.: **FC839S2Xxx** Port No.: **TCP/IP**

Host Interface Configuration Basic Operation Parameter Table 1

Parameter Table 2 CF Card Information File Transfer

Specific Parameter for this Control Module (FUNC 8X)

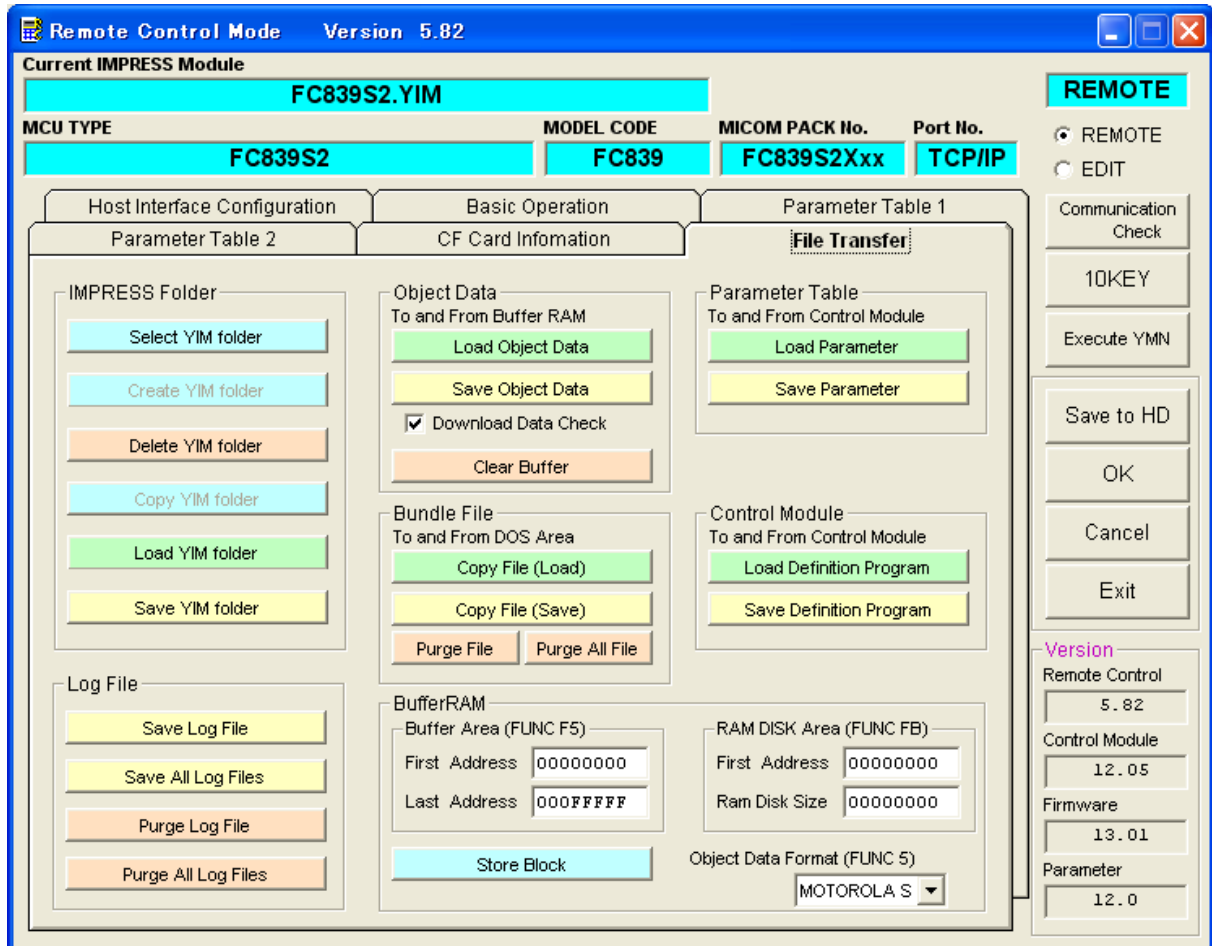
	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F	
0C0:	00	00	34	41	00	00	07	EE	00	00	07	ED	00	00	00	08	..4A.....
0D0:	00	00	01	01	00	05	1E	00	00	00	00	00	00	00	00	00
0E0:	FF	FF	18	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	03	00
0F0:	00	00	00	00	80	00	68	00	00	00	00	00	0A	00	00	00h.....
140:	00	0F	FF	00	00	0F	FF	00	00	00	00	00	00	00	C8	00
600:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
610:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
620:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
630:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00

- WARNING -
 These parameter should not be changed.
 Contact to DTS INSIGHT in details.

Version: Remote Control 5.85, Control Module 12.09, Firmware 13.05, Parameter 12.0

本項に関する詳細は、弊社 第一事業本部 第二事業部 自動車プロダクト部 サポートセンタまでお問い合わせ下さい。

4-4 パラメータファイルの作成とロード



ここまで設定した一連のパラメータは、パーソナルコンピュータ上のハードディスクにファイルとして格納し、再読み込みすることができます。

File Transfer 画面を開き、Load Parameter 及び Save Parameter をご利用下さい。

これにより、系列マイコン用の初期パラメータをファイルの形でロード・セーブすることができます。

対象マイコンの変更に対して、容易にパラメータの切り替えを行うことができます。

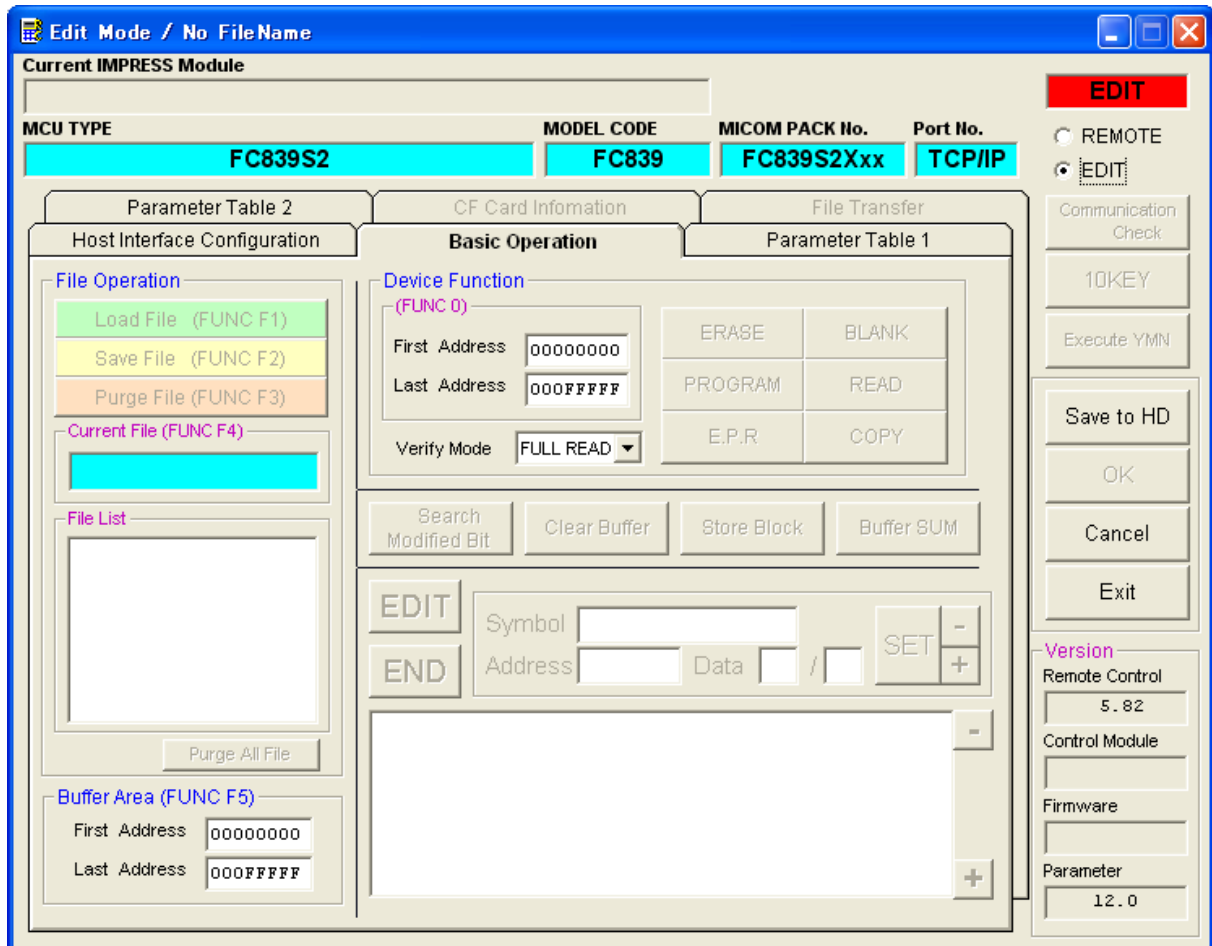
また、弊社ホームページでは、主要なマイコンパラメータファイルを含んだ NET IMPRESS コントロールモジュール用のマイコンパックを提供しております。

<ホームページアドレス>

https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress/top/index.php?m=Search

4-5 Edit Mode でのパラメータファイルの編集

ライタとの接続を必要とせずに、パーソナルコンピュータ上のパラメータファイル(*.prm)を編集、保存することができます。

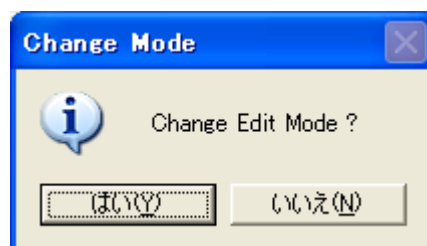


Edit Mode でパラメータファイルを編集することができます。

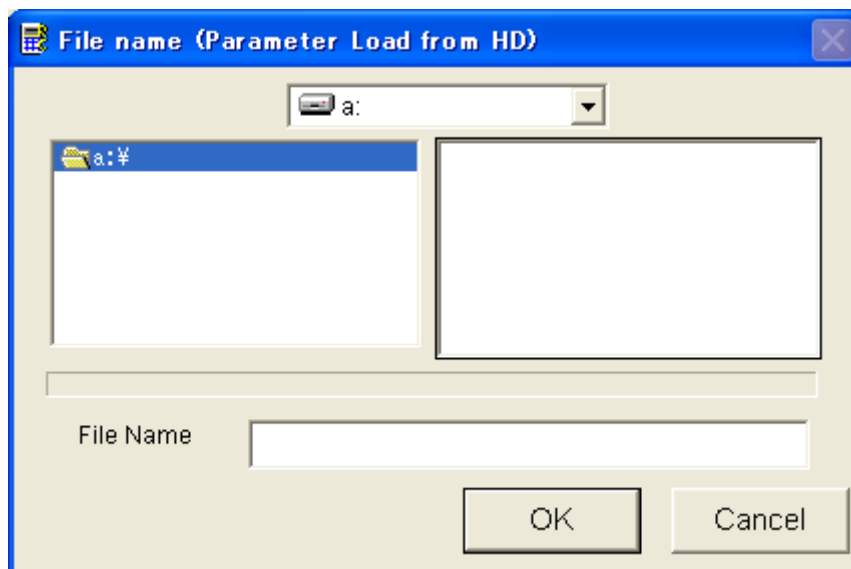
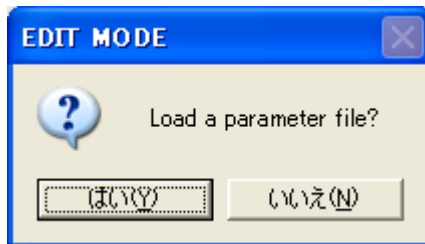
Edit Mode にモードを切替える場合は、画面右上のチェックボックスを使用します。

EDIT を選択すると、下記メッセージが表示されモード切替の確認が行われます。

Edit Mode を使用する場合には、” はい ” を選択してください。



Edit Modeに切替えた場合、リモートコントローラで既に読みを行っているパラメータテーブルの他に、パーソナルコンピュータ上にあるパラメータファイルの読み込み、パラメータテーブルを編集することができます。
パラメータファイルの読み込みを行う場合には、”はい”を選択し、表示されるファイル選択画面によりパラメータファイルを選択し、読み込みを行ってください。



パラメータテーブルの編集、パラメータファイルの作成については、Remote Modeと同様です。
画面右部にある” Save to HD” ボタンを押して、PC上にファイルとして格納をすることができます。

- ・パラメータ編集が終わりましたら、画面右部にある” Save to HD” ボタンを使用してファイルとして格納します。
- ・ダウンロードを行うコントロールモジュールをライターに挿入し、Remote Modeにてライターとの接続を行います。
- ・Load Parameter ボタンにて、コントロールモジュールにパラメータファイルのダウンロードを行います。

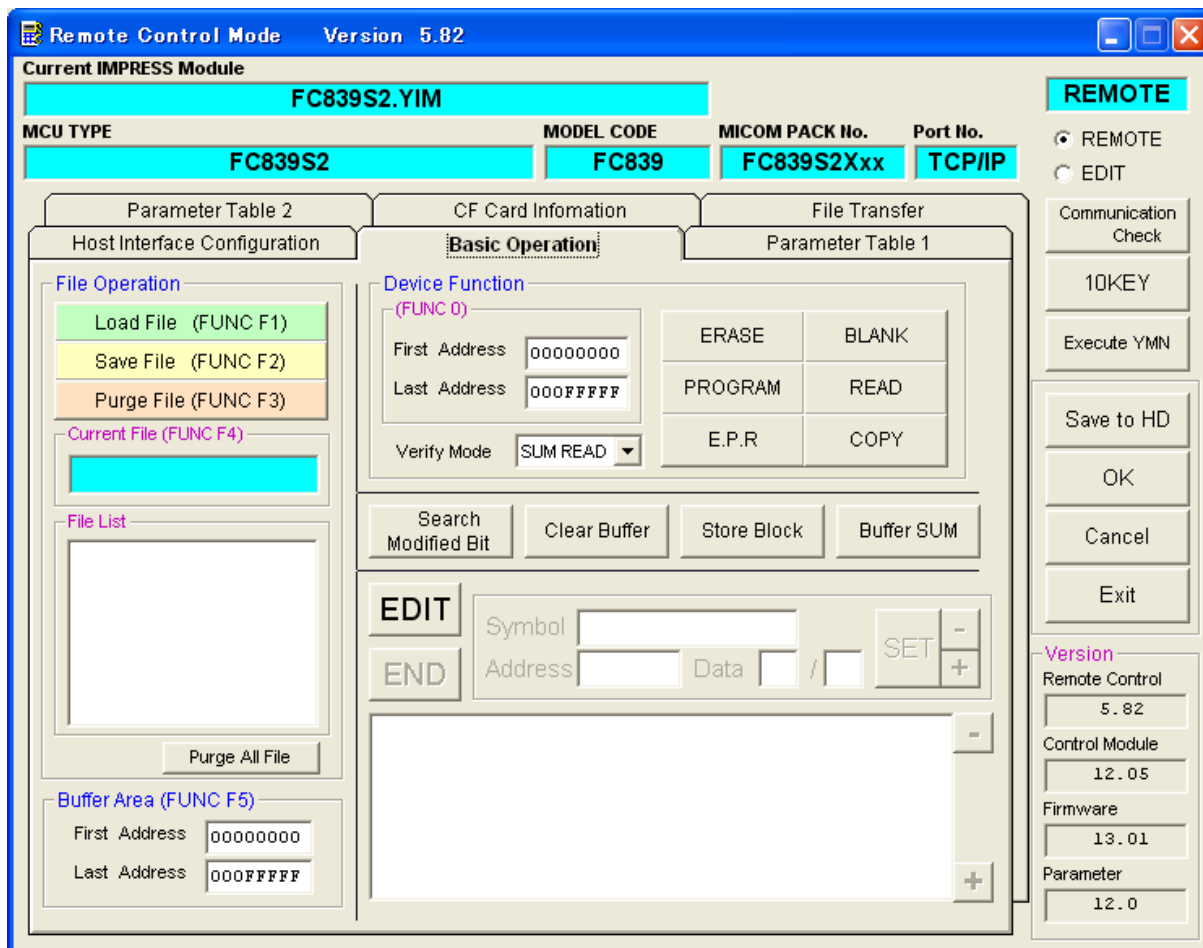
5 リモートコントローラとしての取扱い説明

リモートコントローラとして、パーソナルコンピュータからライタを制御する場合も、必ず、第3章をお読みいただき一連の初期設定を行って下さい。

一連の初期設定を行った後に Basic Operation 画面を開きます。

5-1 Basic Operation

NET IMPRESS フラッシュマイコンプログラムの基本操作は、全てこの画面から行うことができます。



5-1-1 ファイル操作

Load File Load、Save File、Purge File、Purge All File を該当するボタンのクリックにより実行できます。

File List Window には、ライターに実装されているコントロールモジュールの YIM フォルダ内に配置されているファイルが表示されています。

File List Window でファイルの選択をすることができます。

Current File Window には、現在コントロールモジュールのバッファメモリに展開されているオブジェクトプログラムのファイル名が表示されます。

5-1-2 Device Function の実行

Device Function ボタンをクリックすることで、ターゲットマイコンへの書込み、読み込みなどのデバイスファンクションの実行を行います。

各デバイスファンクションの説明は、NET IMPRESS next インストラクションマニュアル、MegaNet / C² arNet IMPRESS インストラクションマニュアルと各コントロールモジュールのマニュアルを参照してください。

5-1-3 バッファ RAM 内容の変更

EDIT ボタンを押すと、指定されたアドレス域のバッファ RAM データをバッファ RAM Window に 256 バイト分表示します。

また、ADDRESS Window に示される番地のデータを変更することができます。

カーソルを Data Window に移動して、所定のデータを入力した上での SET ボタン、又は PC のキーボード上のリターンキーを押して下さい。

5-1-4 変更データのサーチ (モディファイビットサーチ)

Search Modified Bit ボタンによりバッファ RAM 内の変更を加えたデータの高速度検索が可能です。

5-1-5 ブロックストア、バッファクリア

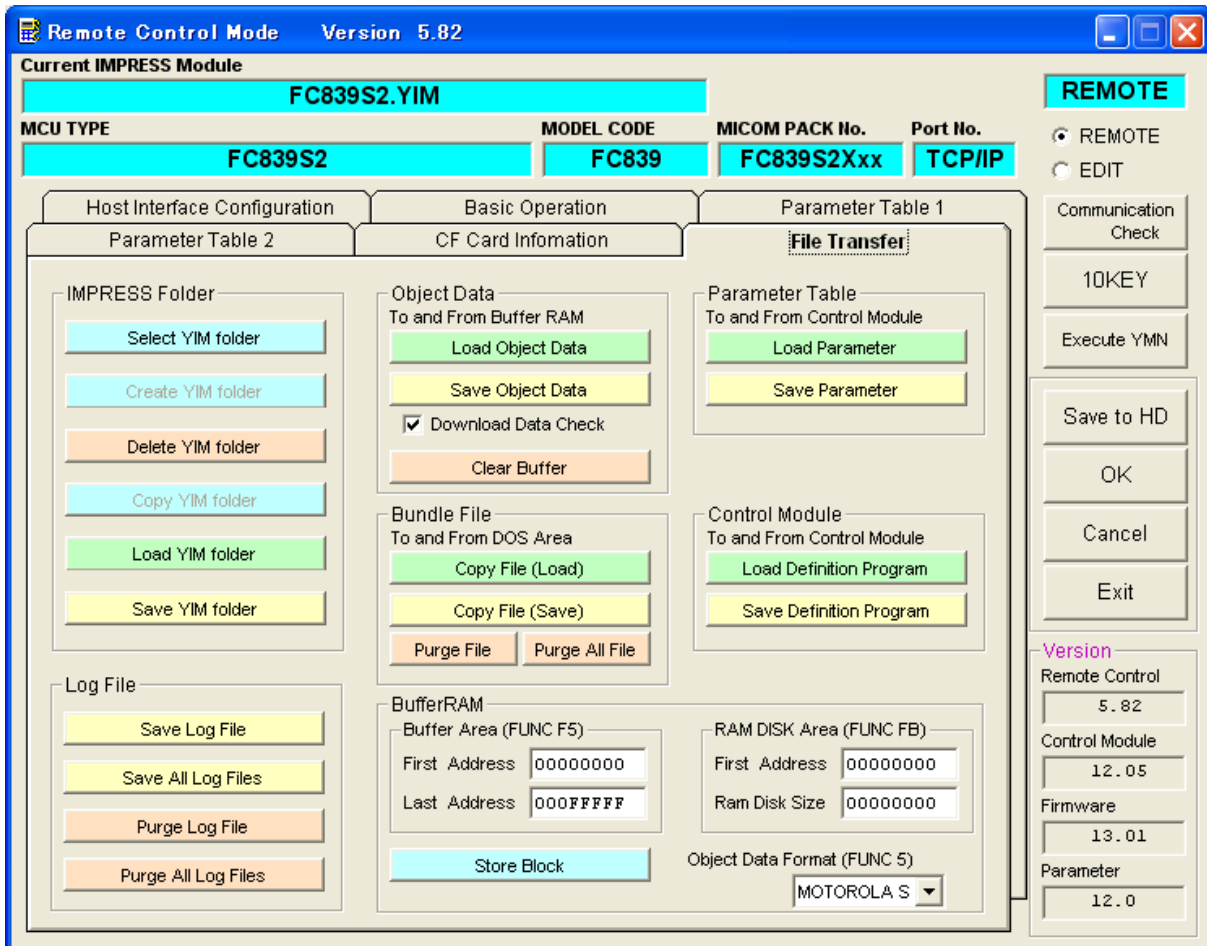
Store Block ボタン及び Clear Buffer ボタンにより、各々のファンクション実行を行います。

5-1-6 BufferRAM のサム値表示

Buffer SUM ボタン (SUM 値計算ボタン) によりデバイスファンクションエリア (FUNCTION 0) 及びバッファエリア (FUNCTION F5) のバッファ RAM のサム値を計算して表示します。

5-2 File Transfer

ライター上のバッファ RAM 及び、PC コントロールモジュール内のパラメータを、Ethernet 回線を介してパーソナルコンピュータ上のハードディスクにロード・セーブすることができます。



5-2-1 オブジェクトファイルのロード/セーブ

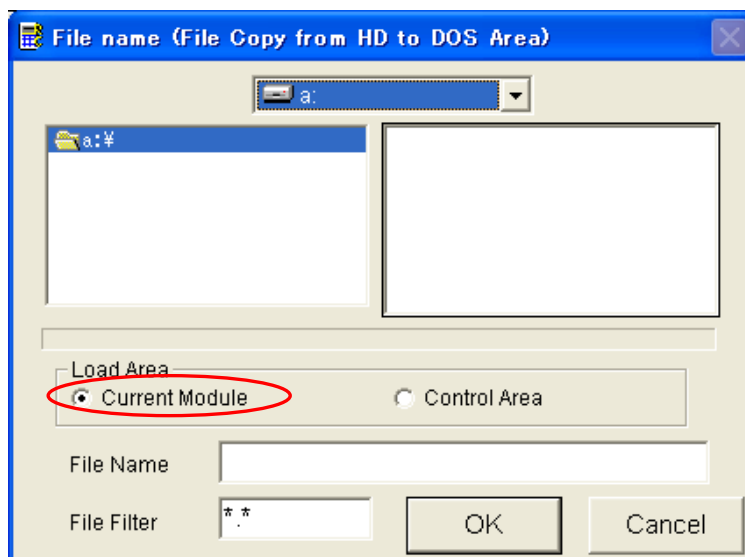
- ・ Load Object Data ボタンにて、PC 上のインテル HEX フォーマットファイル、モトローラ S フォーマットファイル、バイナリファイルをバッファ RAM に展開します。
- ・ Save Data ボタンにて、Buffer Area (FUNC F5) で指定したアドレス範囲のバッファ RAM データを PC 上のファイルにセーブします。

5-2-2 パラメータファイルのロード/セーブ

- ・ Load Parameter ボタンにて、PC 上のパラメータファイルをライター実装されているコントロールモジュールにロードします。
- ・ Save Parameter ボタンにて、ライターに実装されているコントロールモジュールのパラメータテーブルを PC 上のファイルにセーブします。

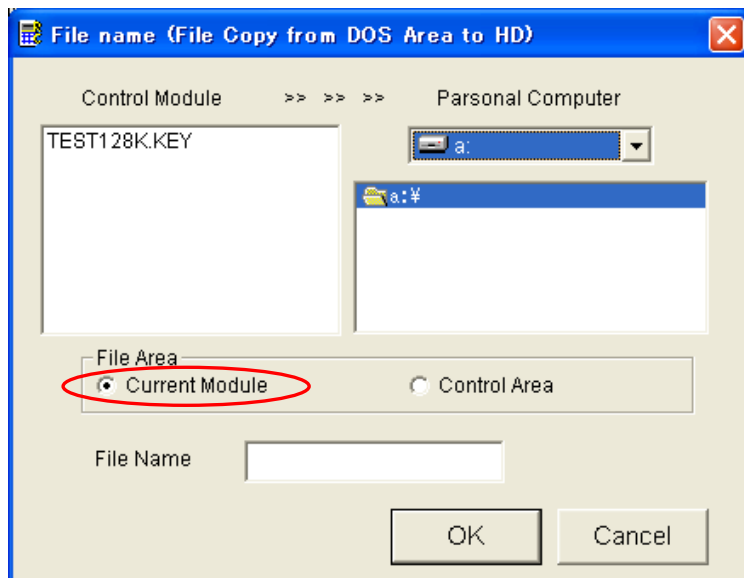
5-2-3 カレント YIM ファイルのコピーと削除

- ・ Copy File (Load) ボタンにて、PC 上のファイルをライターに実装されているコントロールモジュール内の YIM フォルダ内に転送します。
- ただし、ファイル選択画面にて、ロードエリアを Current Module に設定する必要があります。



- ・ CopyFile (Save) にて、ライタに実装されているコントロールモジュール内の YIM フォルダ内にあるファイルを PC 上にセーブします。

ただし、ファイル選択画面で、ファイルエリアを Current Module に設定する必要があります。



- ・ Purge File ボタンにて、コントロールモジュールの YIM フォルダ内にあるファイルを削除します。ただし、フォルダ・ファイルリストで、カレント YIM フォルダノードかカレント YIM ファイルノードが選択されている必要があります。

- ・ Purge All File ボタンにて、コントロールモジュールの YIM フォルダ内にあるファイルを全て削除します。

ただし、フォルダ・ファイルリストで、カレント YIM フォルダが選択されている必要があります。

5-2-4 定義体ファイルのロード／セーブ

- ・ Load Definition Program ボタンにて、ライセンス許可されたコントロールモジュールを PC からライタに送信し、定義体交換を行います。

- ・ Save Definition Program ボタンにて、コントロールモジュールの定義体部分を PC に送信して定義体ファイルを HD 上にセーブします。

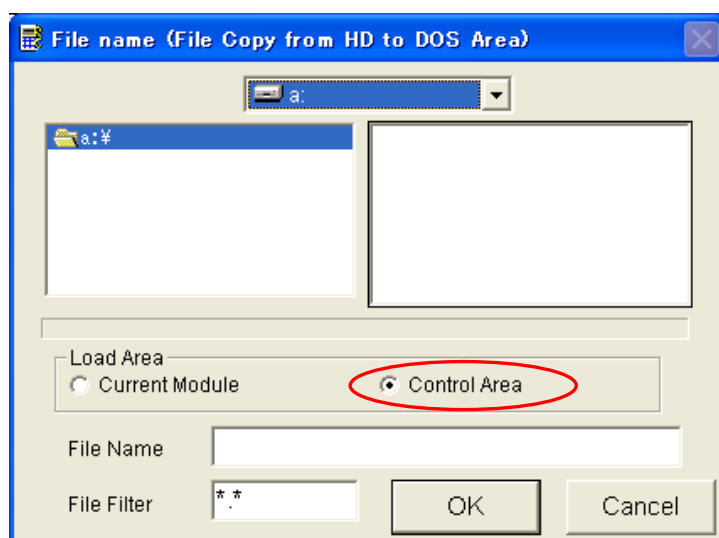
5-2-5 YIM フォルダの作成/削除/切替え/コピー

- ・ Select YIM Folder ボタンにて、カレントの YIM フォルダを選択します。

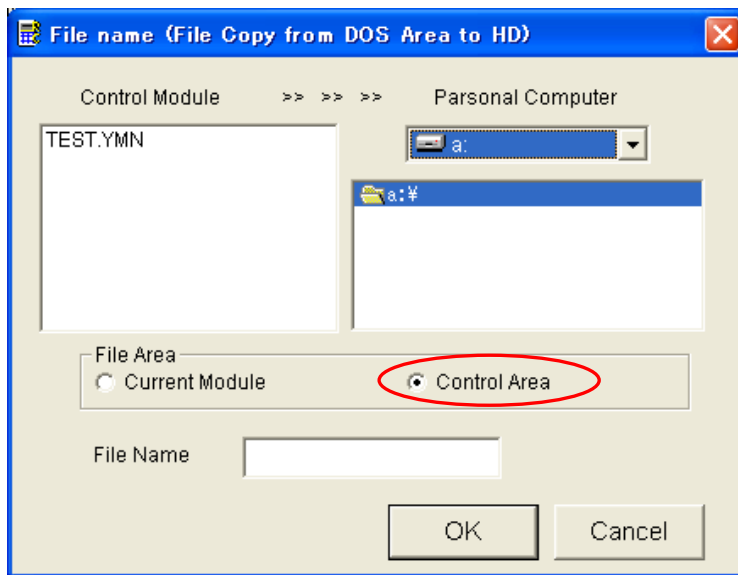
- ・ Create YIM Folder ボタンにて、YIM フォルダの作成を行います。
- ・ Delete YIM Folder ボタンにて、YIM フォルダの削除を行います。
- ・ Copy YIM Folder ボタンにて、カレント YIM フォルダのコピーを行います。
- ・ Load YIM Folder ボタンにて、PC 上にある YIM フォルダを CF カードにコピーすることができます。
- ・ Save YIM Folder ボタンにて、CF カード内にある YIM フォルダを PC 上にセーブすることができます。

5-2-6 ルートファイルのコピー/削除

- ・ Copy File (Load) ボタンにて、PC 上のファイルをコントロールモジュールのルート領域にコピーすることができます。
- ただし、ロードファイル選択画面のロードエリアを Control Area に設定する必要があります。



- ・ Copy File (Save) ボタンにて、コントロールモジュールのルート領域にあるファイルを PC 上にコピーすることができます。
- ただし、ファイル選択画面で File Area を Control Area に設定する必要があります。



- ・Purge File ボタンにて、コントロールモジュールのルート領域にあるファイルを削除します。
ただし、フォルダ・ファイルリストで、ルートノードかルートファイルノードが選択されている必要があります。
- ・Purge All File ボタンにて、コントロールモジュールのルート領域にあるファイルを全て削除します。
ただし、フォルダ・ファイルリストで、ルートノードが選択されている必要があります。

5 - 3 CF Card Information

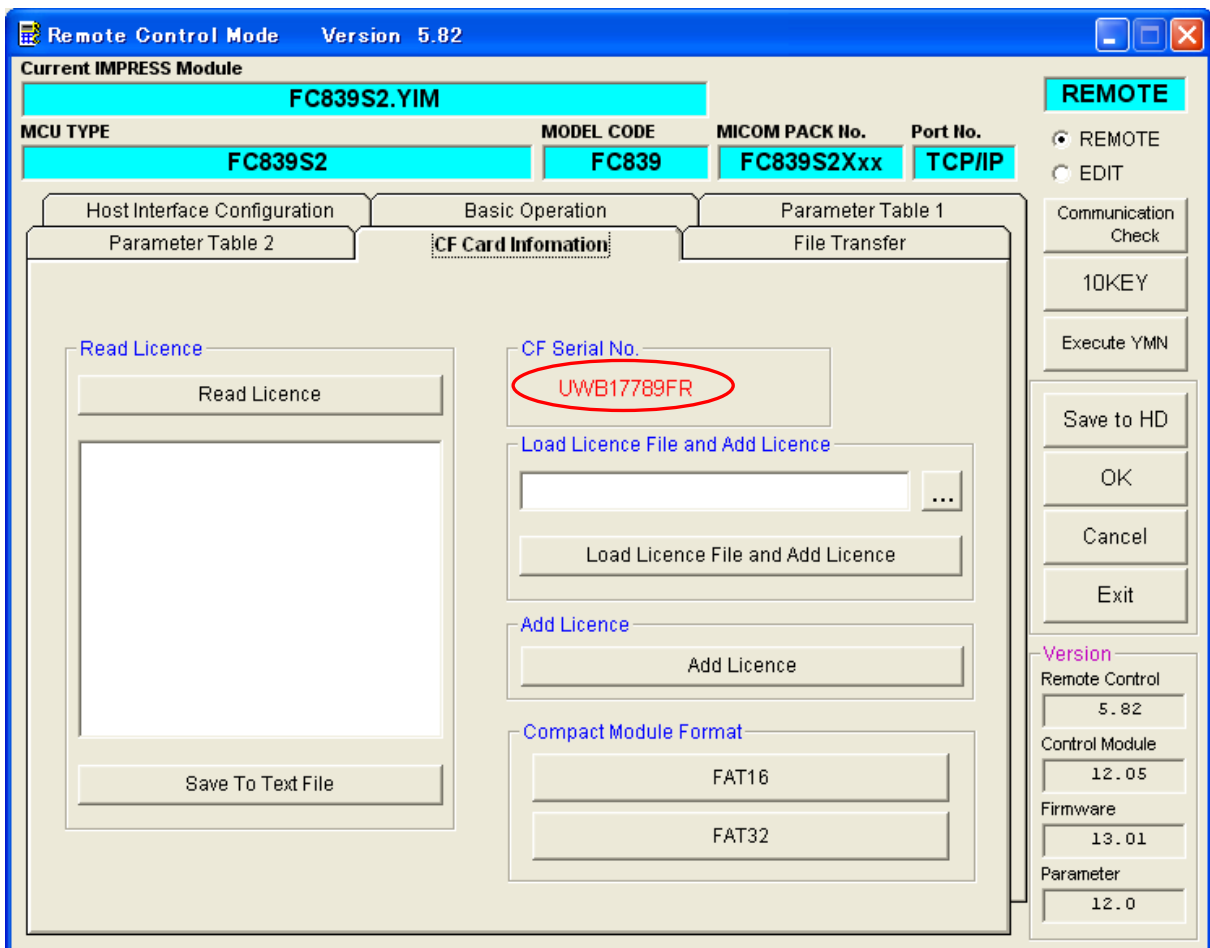
CF カードに登録されているライセンスの確認やシリアル番号の確認、ライセンスの登録が行える画面です。

5 - 3 - 1 CF カードシリアル番号表示

CF Card Information 画面にはCF カードのシリアル番号が表示されます。

本機能はライターが NET IMPRESS next の場合に限られます。

MegaNET IMPRESS と C" arNET IMPRESS の場合、シリアル番号は表示されません。



5-3-2 ライセンス表示

Read Licence ボタンを押すと、現在登録されているライセンスが、ライセンス表示リストに表示されます。

また、Save To Text File ボタンを押すことによって、ライセンス表示リストに表示されている内容を、ファイルとして PC 上に保存することが可能です。

5-3-3 ライセンス追加

ライセンスを追加する方法は2つあります。

①PC 上のライセンスファイルからライセンスを追加する場合

PC 上にあるライセンスファイルを選択し、Load Licence File and Add Licence ボタンを押すことで、CF カードにライセンスを登録することが可能です。

ライセンスファイルは一度 CF カードにロードされますが、ライセンス登録後、削除され、CF カード上にライセンスファイルは残りません。

②CF カードに格納されているライセンスファイルからライセンスを登録する場合

予め、CF カードのルートにライセンスファイルを格納します。

Add Licence ボタンを押すと、ライセンスの登録が行われます。

CF カード上のライセンスファイルは削除されません。

***バージョン 5.82 からライセンス追加の方法が変わりましたのでご注意ください。**

5-3-4 CF カードのフォーマット

FAT16/FAT32 形式で、CF カードのフォーマットができます。

登録済みのライセンスは削除されません。

FAT16 と FAT32 では、フォルダ・ファイル数の上限値が異なります。

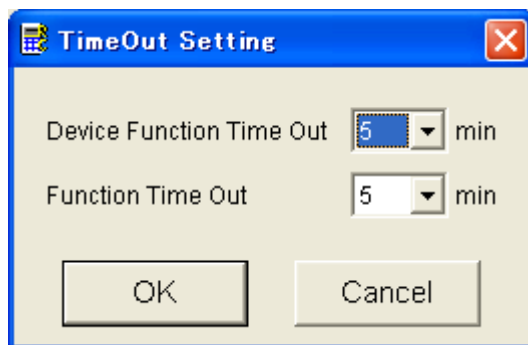
詳しくは NET IMPRESS next インストラクションマニュアル、MegaNET/C” arNET IMPRESS インストラクションマニュアルをご参照ください。

5-4 Host Interface Configuration

5-4-1 タイムアウト時間の設定

Time Out ボタンを押すと下の画面が表示されます。

ファンクション、デバイスファンクション実行時におけるタイムアウトまでの時間を設定します。設定範囲は1～300分までで1分単位で設定できます。



タイムアウトが発生すると「111:AF200 Time Out 01」というエラーメッセージが表示されます。

5-4-2 ライタ時間の設定

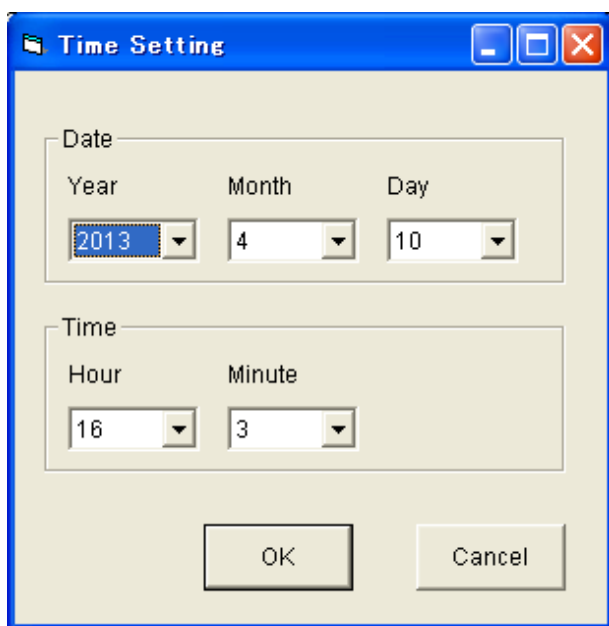
NET IMPRESS next は、ライタ内に時計機能を保持しております。

Host Interface Configuration の Time Settings ボタンから、ライタ時間の設定を行うことができます。

上記ボタンの押下で、ライタ時間設定画面が表示されますので、現在の時刻を設定してください。

現在の時刻とかけ離れた時間を設定しようとした場合、エラーとなりますのでご注意ください。

ライタ時間の詳細に関しては、NET IMPRESS next インストラクションマニュアルをご参照ください。



5-4-3 ログ設定

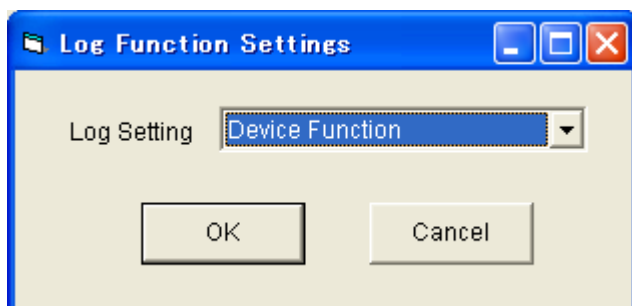
NET IMPRESS next では、デバイスファンクションやファンクションの実行記録をログとして保存することが可能です。

ログを残す条件として、

- ① ログは残さない
- ② デバイスファンクションのログを残す
- ③ ファンクション・デバイスファンクションのログを残す

の3タイプ存在します。

Host Interface Configuration 画面の Log Settings ボタンを押すと、ログ条件設定画面が開きます。



上記画面にて、ログを残す条件を設定することが可能です。

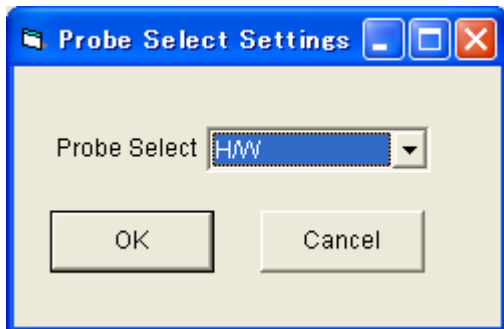
ログの詳細は NET IMPRESS next のインストラクションマニュアルをご参照ください。

5-4-4 プローブセレクト

NET IMPRESS next では、Target Probe1 を使用するか、Target Probe2 を使用するか、ハードウェアで自動検出するかを設定することが可能です。

AZ490 にて、上記条件の設定が可能です。

Host Interface Configuration 画面の Probe Select ボタンを押すと、プローブセレクト設定画面が表示されますので、プローブセレクト選択条件を設定してください。



プローブセレクトの詳細に関しては、NET IMPRESS next のインストラクションマニュアルをご参照ください。

5-4-5 DIO フィルタ時間設定

NET IMPRESS next では、DIO フィルタ時間を設定することが可能です。

Host Interface Configuration 画面の DIO Filter ボタンを押すと、DIO フィルタ設定画面が表示されますので、DIO フィルタ時間を設定してください。

DIO フィルタの詳細は、NET IMPRESS next のインストラクションマニュアルをご参照ください。



5-5 10KEY

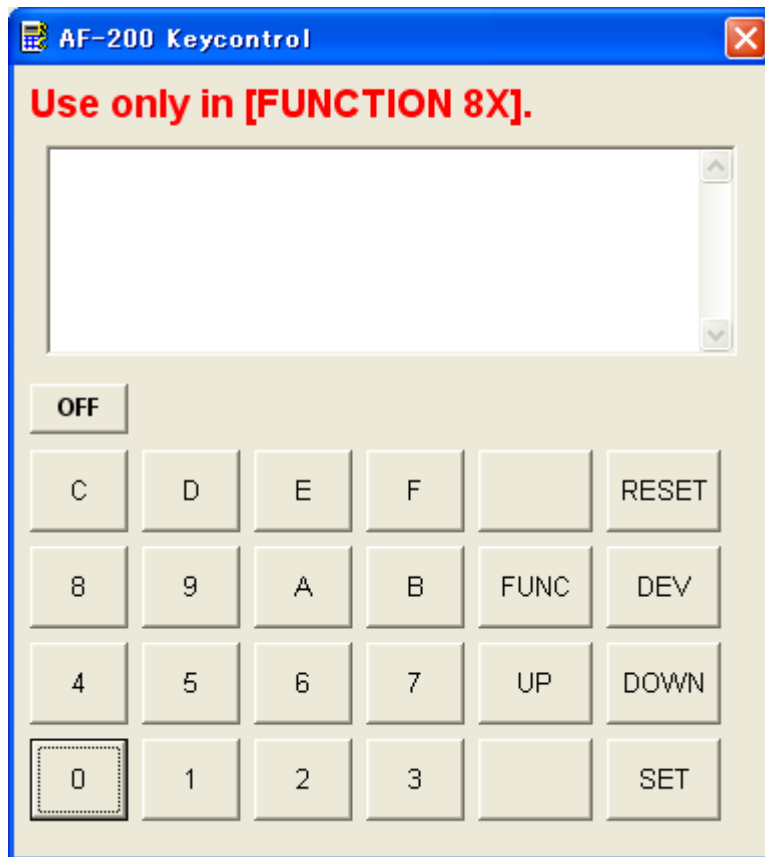
注意：この機能は[FUNCTION 8X] マイコン固有コマンド専用の機能です。

それ以外のコマンドでは使用しないで下さい。

Remote Controller 画面右上の10KEY ボタンを押下すると、下記画面が表示されます。

ライタの仮想キーボード（ソフトウェアキーボード）を表しています。

このWindow からライタ上のキーを押す感覚で、ライタをリモートコントロールできます。



10KEY 機能ではパーソナルコンピュータのキーボードに以下のようにキー割付がされています。

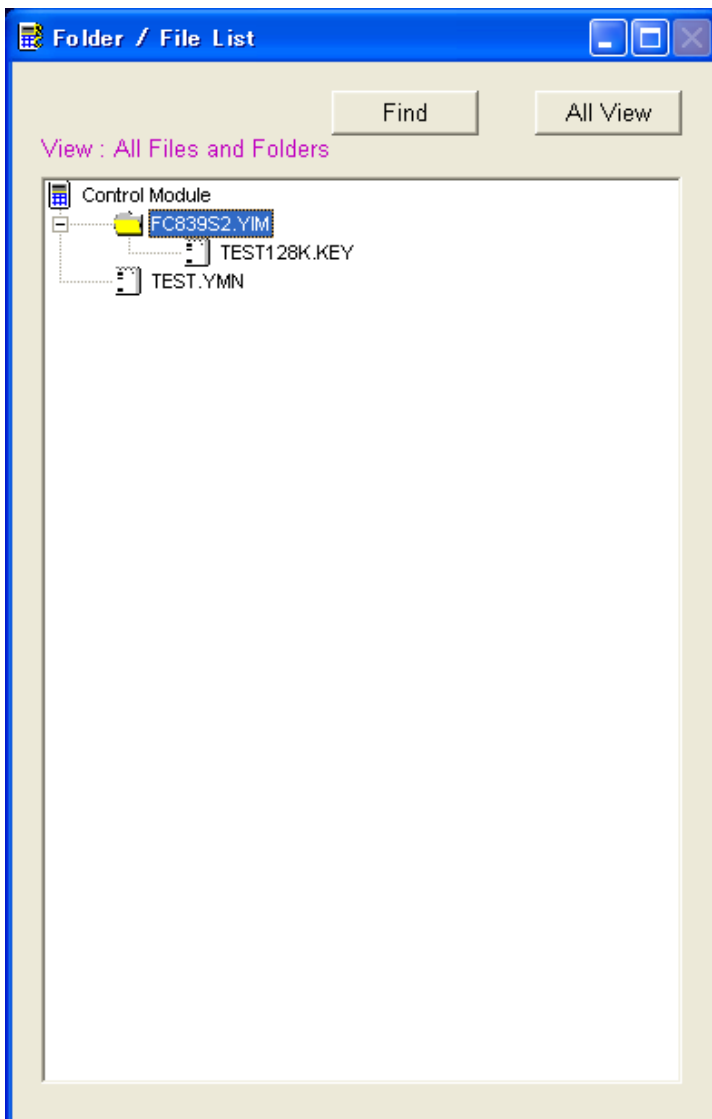
10KEY 画面上	キーボード上
'0' ~ 'F'	'0' ~ 'F'
'FUNC'	'F1'
'DEV'	'F2'
'SET'	'SPACE'
'UP'	'PageUp'
'DOWN'	'PageDown'

5-6 Folder / File List

CF カード内にある、YIM フォルダ・ルートファイル・カレント YIM ファイルを表示します。

検索機能を使用した際には、検索結果を満たすフォルダ・ファイルが表示されます。

ただし、カレント YIM フォルダとカレント YIM ファイルは、検索結果にかかわらず、必ず表示されます。



5-6-1 ノード操作

フォルダ・ファイルリストのノードを操作する事によって、ファイルのロードやフォルダの選択等、各種フォルダ・ファイル操作を実行することが可能です。

- ・ Control Module ノードの右クリック
Create, Copy, Copy File(Load) メニューが表示されます。
メニューの選択で、YIM フォルダの作成、コピー、コントロールファイルのファイルコピー(ロード)を実行することが出来ます。
- ・ ルートファイルノードの右クリック
Purge, Copy File(Save) メニューが表示されます。
メニューの選択で、ルートファイルの削除、セーブを実行することが出来ます。
- ・ カレント以外の YIM フォルダノードの右クリック
Select, Create, Delete メニューが表示されます。
メニューの選択で、YIM フォルダの選択・作成・削除が実行可能されます。
- ・ カレント YIM フォルダノードの右クリック
Select, Create, Delete, Copy, Copy File(Load) メニューが表示されます。
メニューの選択で、YIM フォルダの選択・作成・削除・コピーと、カレント YIM ファイルのロードが実行可能です。
- ・ カレント YIM ファイルノードの右クリック
Purge, Copy File(Save) メニューが表示されます。
メニューの選択で、カレント YIM ファイルの削除、セーブを実行することが出来ます。
- ・ YIM フォルダノードのダブルクリック
YIM フォルダの選択が実行されます。
ダブルクリックされた YIM フォルダがカレント YIM フォルダになります。
- ・ YIM フォルダノード選択時の Enter キー押下
YIM フォルダの選択が実行されます。
選択されていた YIM フォルダがカレント YIM フォルダになります。
- ・ YIM フォルダノード選択時の Delete キー押下
選択されていた YIM フォルダの削除が実行されます。
- ・ カレント YIM ファイルノード選択時の Delete キー押下
選択されていたカレント YIM ファイルの削除が実行されます。

- ・ルートファイルノード選択時の Delete キー押下
選択されていたルートファイルの削除が実行されます。

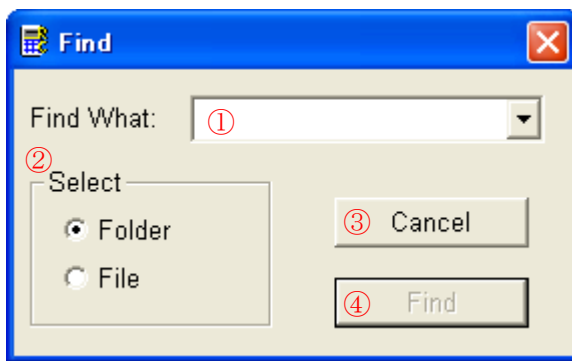
5-6-2 フォルダ・ファイル検索

すべてのフォルダ・ファイルの中から、検索条件に合ったフォルダ・ファイルのみリストに表示します。

ただし、カレント YIM フォルダとカレント YIM ファイルは、検索条件にかかわらず、常にリストに表示されます。

検索を実行するには、検索ボタンを押してください。

下記、検索画面が表示されます。



①検索データ条件入力コンボボックス

検索条件を入力します。

なお、下記ワイルドカードを入力することも可能です。

“?” 任意の 1 文字

“*” 任意の文字列

[charlist] charlist に指定した中の任意の 1 文字

[!charlist] charlist に指定した以外の任意の 1 文字

また、コンボボックスには、過去 10 件分の検索条件が保存されており、そのデータを選択することも可能です。

②検索対象選択ボタン

YIM フォルダを検索するか、コントロールファイルを検索するかを選択します。

③キャンセルボタン

検索を実行せずに終了します。

なお、エスケープキーの押下でも、終了することが可能です。

④検索実行ボタン

検索を開始します。

5-6-3 フォルダ・ファイル全表示ボタン

フォルダ・ファイルリストにすべてのフォルダ・ファイルを表示します。

(カレント YIM フォルダ以外の YIM フォルダ内にあるファイルは表示されません。)

6 APPENDIX 1

AZ490・リモートコントローラのインストール手順

インストールに先立って、PC とライタを Ethernet ケーブルで接続します。

(ライタには、ご利用になるコントロールモジュールを確実に装着して下さい。インストール作業では、必ずしもターゲットシステムをライタに接続しておく必要はありません。)

PC 及びライタの順に電源を入れて下さい。

<インストール手順>

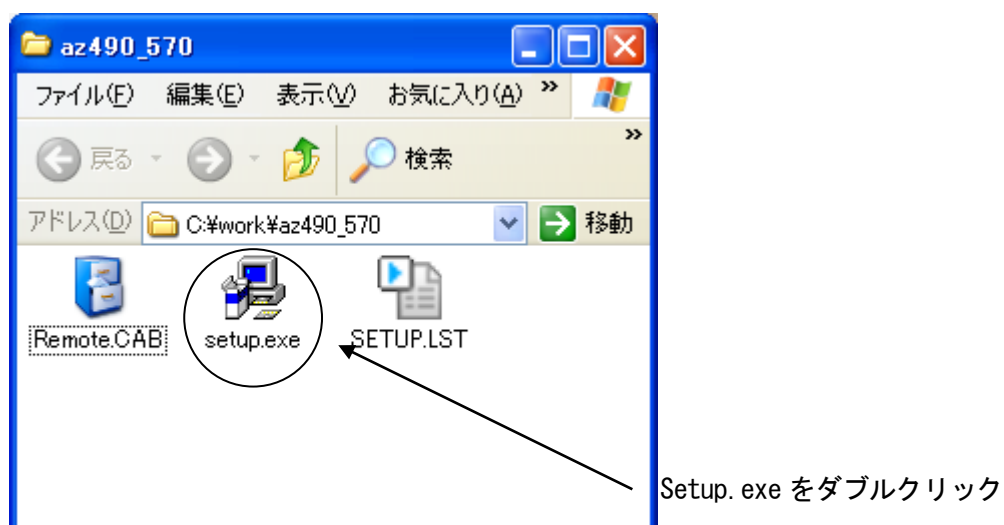
1. Setup プログラムの起動

AZ490・リモートコントローラは、弊社 HP からダウンロードできます。

<ホームページアドレス>

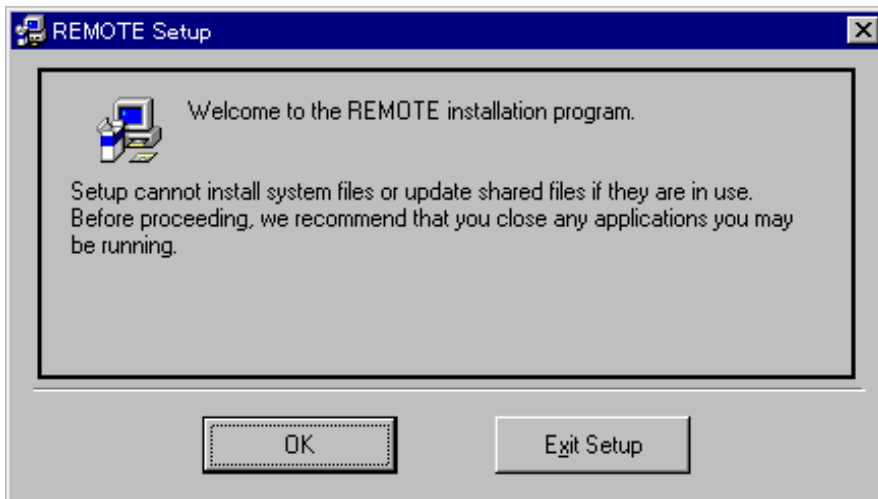
https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress/top/index.php?m=Software

上記アドレスより Setup プログラムを入手し、setup.exe プログラムを起動して下さい。

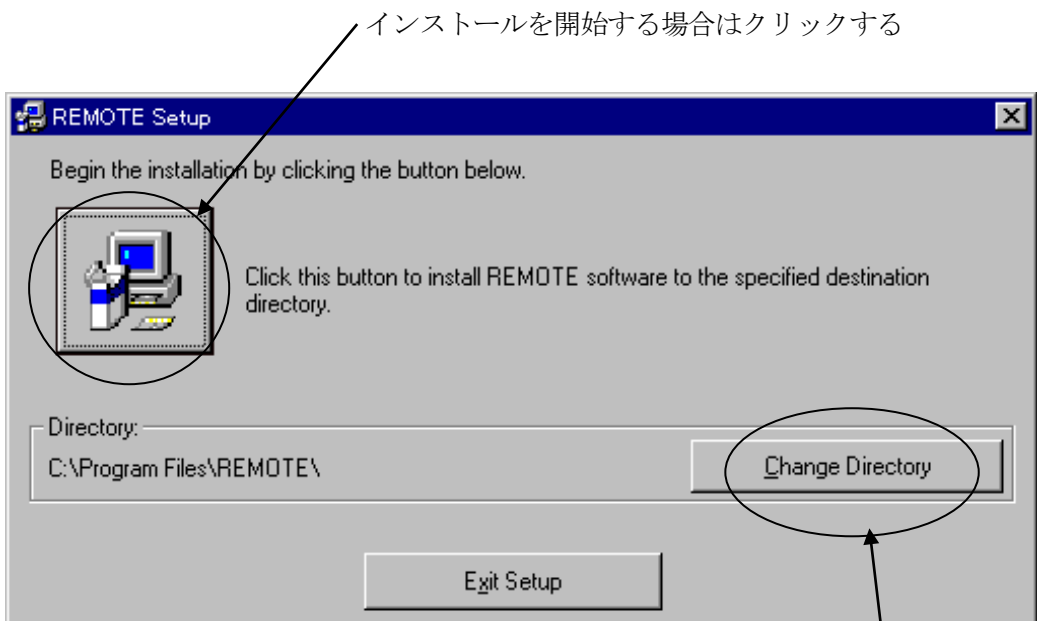


2. インストール

セットアップを開始すると下記画面が表示されますので OK ボタンを押してください。



インストール先を選択します。

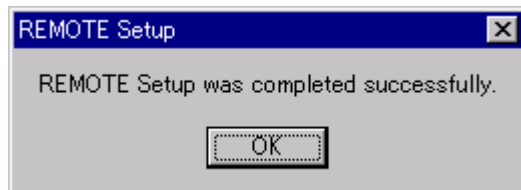
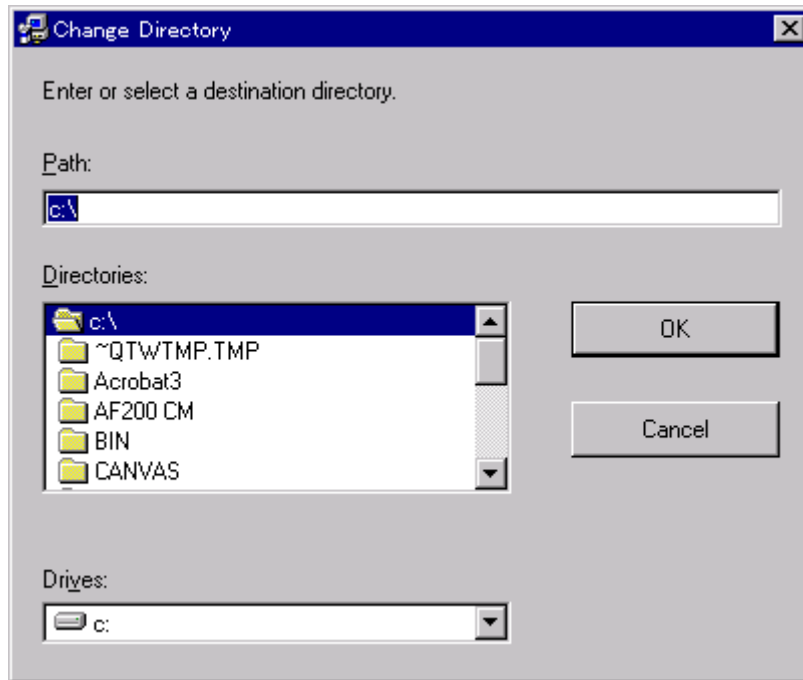


変更する場合はクリックする

(変更する場合)

プログラムディレクトリパスを指定します。

ディレクトリパス選択後” OK” ボタンにて、パスを指定します。



以上でインストール作業は終了です。

スタートメニュー内のプログラム (P) メニューに DTS INSIGHT Tools → Remote (リモートコントローラ) が登録されたことを確認して下さい。

3. ライタとの接続

まずはインストールした Remote Controller を起動してください。

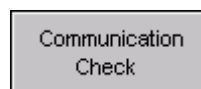
- a. 通信条件（ポート番号、ボーレートなど）がフラッシュライタとの接続条件に合致していないときは、次のメッセージが表示されます。



OK ボタンを押して次の接続条件設定を行います。

- b. Remote Controller が起動され、Host Interface Configuration 画面が表示されます。ここで、通信条件を指定します。

通信条件を設定後、



キーを押して下さい。

通信条件が合致し、正常な通信が行われると、次のメッセージが表示されます。



注意

設定内容が NET IMPRESS の通信条件と合致しないときは、合致するまで Can not connected to AF200 のメッセージが表示されます。

7 APPENDIX 2

AZ490・リモートコントローラで発生するエラー一覧

ここではリモートコントローラ使用時に発生するエラーの一覧を示します。

ここで紹介するエラーメッセージの他に、ライターにて発生したエラーメッセージもリモートコントローラは表示します。

従いまして、NET IMPRESS next インストラクションマニュアル・MegaNet / C” arNet IMPRESS インストラクションマニュアルのエラーコード一覧表と、コントロールモジュールのエラーコード一覧表も参照してください。

エラーコード	内容	詳細
63:NEW FILE ERR	ログファイルの設定が正しくない	ユニバーサルコマンドのログファイルの設定が正しくありません。
100:File not found.	ファイルが存在しない	ファイルの存在を確認してください。
101:File access error.	ファイルにアクセスができない	ファイルが壊れている可能性があります。ご確認ください。
102:File format error.	ファイルフォーマット異常	ファイルフォーマットを確認してください。
103:Irregular parameters	パラメータ異常	パラメータファイルを確認してください。
104:Con not use double byte character to filename	2バイト文字使用エラー	ファイル名には2バイト文字を使用できません。ファイル名を確認してください。
105:RS232C already connected.	RS232C 接続中	RS232C で接続中です。接続設定の変更はできません。
110:Can not Connected to AF200. 01	接続異常	PC-ライターの接続を確認してください。
111:AF200 Time Out. xx	通信タイムアウト	実行したコマンドが一定の時間内にライターからの終了応答が無いときのエラーです。 00:ファイルやフォルダ操作コマンド 01:デバイスファンクションコマンド ・Function Time Out 設定が短い場合は長くしてください。 ・ターゲット-ライター間の接続不良がないか接続状態を、またノイズ発生源などがいないか確認してください。 ・CF カードの読み込み異常がないか、他ライターと入れ替えるなどお試しください。 ・ターゲットプローブ選択状態を確認してください。
112:Invalid data.	データ設定エラー	正しい値を設定してください。
113:Can not Communication Break	Ether 強制切断エラー	Ether 接続の強制切断に失敗しました。
114:Not IP Address	IP アドレス入力エラー	IP アドレスを設定してください。
115:The search name is not defined	検索ファイルエラー	検索するファイル名を入力してください。
116:File Name Error	ファイル名エラー	ファイル名が正しくありません。ファイル名を確認してください。
117:Folder Name Error	フォルダ名エラー	フォルダ名が正しくありません。フォルダ名を確認してください。

エラーコード	内容	詳細
118:Folder not found.	フォルダエラー	フォルダが存在しません。 フォルダの存在を確認してください。
119:YIM Folder Load Error.	YIM フォルダロードエラー	YIM フォルダのロード時にエラーが発生しました
120:Device function error.	デバイスファンクション実行エラー	・デバイス不良: 正常に消去や書き込みができませんでした。 ・ベリファイ異常: 書き込み中やベリファイ中に通信データ化けなどの要因でベリファイ不一致がありました。ケーブルや接続状態、ノイズ要因を確認してください。
121:Command Not Support	コマンド非対応	コマンドに対応していません。
122:YIM Folder System Error	YIM フォルダ体系エラー	YIM フォルダの体系が正しくありません。
123:Folder Path Error	セーブ先フォルダパスエラー	セーブ先のフォルダが存在しません。
124:YIM Folder Name Error.	YIM フォルダ名エラー	YIM フォルダが選択されていません。 正しい YIM フォルダを選択してください。
125:YIM Folder Save Error.	YIM フォルダセーブエラー	YIM フォルダのセーブ時にエラーが発生しました。
126:Log file access error.	LOG ファイルアクセスエラー	ログファイルのアクセス時にエラーが発生しました。
127:Time Set Error	時間設定エラー	ライタ時間の設定時にエラーが発生しました。
128:Log Function Set Error	ログ条件設定エラー	ログ条件の設定時にエラーが発生しました。
129:Writer Time Error	ライタ時間の設定エラー	ライタ時間の取得時にエラーが発生しました。 ライタとの通信に問題があるか、ライタに設定された時間に問題があります。 ライタに設定された時間に問題がある場合は、弊社サポートセンターへご連絡ください。
130:Probe Select Error	プローブセレクト設定時のエラー	プローブセレクト設定時にエラーが発生しました。
131:Time Parameter Error	プログラマ時間設定パラメータエラー	プログラマに設定する時間が正しくありません。
132:DIO Filter Setting Error	DIO フィルタ設定エラー	DIO フィルタ設定時にエラーが発生しました。
133:Format error.	送信データフォーマットエラー	ライタから送信されたデータのフォーマットが正常ではありません。弊社サポートセンターへご連絡下さい。
140:Remote2.ini File Format Error	Remote2.ini ファイルエラー	Remote2.ini ファイルのフォーマットが正しくありません。
200:Current Module Undefined.	コントロールモジュール設定エラー	コントロールモジュールが設定されていません。コントロールモジュールをダウンロードしてください。
201:Module not found.	YIM フォルダ選択エラー	YIM フォルダが存在しません。
202:Download File Unmatching.	パラメータファイルエラー	ロードするパラメータファイルが正しくありません。 パラメータファイルを確認してください。
203:Module Name is too long.	ファイル名エラー	ファイル名が長すぎます。 ファイル名を確認して下さい。
204:YIM Folder Full	YIM フォルダフル	YIM フォルダをこれ以上作成できません。必要のないフォルダを削除してください。
205:Control File Full	コントロールファイルフル	コントロールファイルをこれ以上作成できません。 必要のないファイルを削除してください。
206:Current Module File Full	カレントフォルダファイルフル	カレントフォルダにこれ以上ファイルを作成することが出来ません。必要のないファイルを削除してください。
207:YIM folder is not selected.	YIM フォルダ未選択エラー	YIM フォルダが選択されていません。 YIM フォルダを選択してください。
300:YMN Execute error.	YMN 実行時エラー	YMN 実行時にエラーが発生しました。 YMN ファイルが正しいか確認して下さい。

エラーコード	内容	詳細
900:This function is not support.	実行ファンクションエラー	このファンクションには対応していません。
901:Folder is not selected.	YIM フォルダが選択されてない	YIM フォルダを選択してから実行して下さい。
999: Unspported Command	不明コマンド受信	PC からの実行コマンドをライターが受信できませんでした。以下の要因が考えられます。 ・カレントフォルダの定義体が認識できていない、フォルダ選択未完了の状態コマンドを実行しようとした ・ライターが PC からの実行コマンドを認識できていないノ電文異常 ・ライター~ターゲット間のノイズ要因などの接続不良によりライターが誤動作した
1066:Full Path Error!	フルパスエラー	ファイル・フォルダのフルパス入力が正しくないか、そのパス上にファイル・フォルダが存在しません。
1202:The number of files is over!	ファイル数エラー	ファイル数が規定数を超過しています。
1203:The number of files and folders is over!	ファイル・フォルダ数エラー	ファイル・フォルダが規定数を超過しています。

エラーコード	内容	詳細
Not Execute	YIM フォルダ選択未実行エラー	YIM フォルダ選択を実行していないのに YIM フォルダ選択のステータスを取得しようとしています。
Busy	他コマンド実行中	他のコマンドが実行中です。 コマンド終了後、次のコマンドを実行してください。
xxx:FILE CLOSE ERR	ファイルクローズエラー(S2)	ファイルのクローズ時にエラーが発生しました。
xxx:S FORMAT ERR	モトローラ S フォーマットエラー(S2)	モトローラ S フォーマットのファイルでフォーマットが正しくありません。
xxx:HEX FORMAT ERR	インテル HEX フォーマットエラー(S2)	インテル HEX フォーマットのファイルでフォーマットが正しくありません。
xxx:FORMAT ERR	フォーマットエラー(S2)	ファイルのフォーマットが正しくありません。
xxx:ERR UNKOWN	予期せぬエラー(S2)	予期せぬエラーが発生しました。
Other command executing	コマンド実行中	他のコマンドが実行中です。
Parameters are not set into AF200	パラメータ変更未登録	変更したパラメータがありますが、登録されていません。
No Item	項目未入力	YIM フォルダ・YMN ファイルが設定されていません。
Non Data	該当データ無し	モディファイビットサーチ時に、変更されているデータがありません。
Buffer Area(FUNC F5) Data Error	設定エラー	FUNC-F5 の設定が正しくありません。
Device Function Area(FUNC-0) Data Error	設定エラー	FUNC-0 の設定が正しくありません。
TVcc Threshold Data Error	設定エラー	TVcc スレッシュホルドの設定が正しくありません。
Flash ROM First Address Data Error	設定エラー	FUNC-D6 開始アドレスの設定が正しくありません。
Flash ROM Last Address Data Error	設定エラー	FUNC-D6 終了アドレスの設定が正しくありません。

エラーコード	内容	詳細
ROM Block Address Data Error	設定エラー	ブロックコンフィギュレーションに設定したアドレスが正しくありません。
ROM Block Size Data Error	設定エラー	ブロックコンフィギュレーションのブロックサイズの設定が正しくありません。
MCU Clock Frequency Data Error	設定エラー	動作クロックの設定が正しくありません。
WDT Clock Period Data Error	設定エラー	WDT 周期の設定が正しくありません。
Key_Length Data Error	設定エラー	アプリ・リードのキー長の設定が正しくありません。
Data Error	設定エラー	ブロックストアの格納データが正しく設定されていません。
~ is access error!	ファイルアクセスエラー	ファイルへのアクセスが失敗しました
This file is NOT Motorola S recode file or Intel HEX file	ファイルフォーマットエラー	モトローラ S フォーマットでもインテル HEX フォーマットでもありません。
~ is not accessible	ファイルアクセスエラー	ファイルへのアクセスに失敗しました。
Wrong File	パラメータエラー	パラメータファイルのフォーマットが正しくありません。
FOLDER IS EXIST	ファイル名エラー	同じ名前のフォルダが存在します。
Invalid Password, try again	パスワードエラー	パスワードが正しくありません。
U1:COMMAND FILE NOT FOUND	ファイル名エラー	ファイル名が正しくありません。

NET IMPRESS お問い合わせ先

株式会社D T Sインサイト

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-30-3

お問い合わせ先

NET IMPRESS サポートセンター

E-mail : support-impress@dts-insight.co.jp

住所 : 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-30-3 新宿 MIDWEST ビル 7F

<NET IMPRESS ホームページアドレス>

<https://www.dts-insight.co.jp/product/programmer/index.html>

https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress/top/